

資 料

日本産野生ハナバチ類の生態知見の総覧とそれらの文献目録

前田 泰生¹⁾・郷右近 勝夫²⁾・宮永 龍一³⁾

¹⁾ 〒690-0011 鳥根県松江市東津田町 2168-218

²⁾ 〒981-0134 宮城県宮城郡利府町しらかし台 5-9-18

³⁾ 〒690-8504 鳥根県松江市西川津町 1060 鳥根大学生物資源科学部

Bibliography of Japanese Wild Bees, Describing Bionomical Characters (Hymenoptera, Apoidea)

Yasuo MAETA¹⁾, Katsuo GŌKON²⁾ and Ryoichi MIYANAGA³⁾

¹⁾ 2168-218, Higashitsuda-cho, Matsue, Shimane Pref., 690-0011 Japan

²⁾ 5-9-18, Shirakashidai, Rifu-cho, Miyagi-gun, Miyagi Pref., 981-0134 Japan

³⁾ Faculty of Life and Environmental Science, Shimane University, Matsue, Shimane Pref., 690-8504 Japan

はじめに

ハナバチ類は、ゴンドワナ大陸の西部内陸の乾燥地で、白亜紀の中期頃に地中営巣性のカリバチ類から出現したとされている (Michener, 1979)。このグループの昆虫は、幼・成虫とも被子植物の花粉と花蜜を餌資源とし、数ある昆虫のなかでも被子植物との共進化を通じて、ギブ・アンド・テイクのパートナーシップを成立させており、植物の繁殖を通じて生態系の保全に重要な機能を果たしている。また、営巣性で単独性からミツバチに至る最高度の社会性まで、さまざまなレベルの社会性をもつ種、さらに労働寄生性種も含む。これらの種の生態や生活史も多様で、魅力的な研究対象昆虫である。

日本産のハナバチ上科にはムカシハナバチ科、ヒメハナバチ科、コハナバチ科、ケアシハナバチ科、ハキリバチ科、ミツバチ科の6科があり、これらの各科にはそれぞれ2属31種、2属85種、6属103種、3属5種、7属57種、13属109種の計390種が記録されている (多田内・村尾 (編),

2007)。最近、ムカシハナバチ科の外来種 *Colletes jankowskyi* Radoszkowski が新たに日本から記録された (Murao *et al.*, 2016)。これで日本産種は合計391種となる。

これまでに解明された日本産のハナバチ類の生活史と生態的知見に限定して、16項目 (化性、出現期・季節消長、交尾行動、発育・発育日数、越冬態、休眠、訪花性 (特定の調査地域を設定し、ハナバチ類の出現期間中に定期的に調査したもので、優占種の訪花植物が記録されているもの。また狭食性種については花粉荷や花粉団子を構成する花粉分析があるものを対象とした)、日周活動、営巣習性・巣構造、産卵数・増殖力、性比、天敵、社会性、労働寄生蜂では寄主、寄生様式、寄生率) に分別し、これらのいずれかの項目について報告されている種には、該当する項目に○印を付して、表中で示した。該当する項目について、明確な記述がないものは知見がないものとして空欄とした。一方、分類、形態、組織、生理、分布記録、ハナバチ相、送粉昆虫としての利用効果、送

粉生態などに関する項目は除外した。しかし、これらを主として記述した報文でも、上述した16項目の生態的知見についても記述があれば文献目録に収録した。ミツバチ属2種については、文献の収録をしなかった。完全な単独性種と記述のあるものには該当項目に－、また非寄生蜂では寄主、寄生様式と寄生率は不必要な項目であるので表中の該当項目に－として記入してある。労働寄生蜂では、営巣しないので該当項目に－として記入してある。

なお、種によっては該当文献数が多いため、表中では16項目について詳しい代表的なものを記述した。記述しなかったものは、文献一覧を参照してほしい。

上述の16項目の一部あるいは全部について知見の報告がある種は計223種もある(表)。諸外国に比べて、生息種数が少ないこともあって、これまでに調査・研究された種数の割合は高いのではないのかと思われる。ことに、坂上ほか(1974)が提唱した方法に準じて、多くの研究者による日本各地(少なくとも41カ所)での花と訪花ハナバチ類との相互関係の調査、ほかにも京都大学農学部昆虫学研究室の当時のメンバーによって京都府内の数カ所で数年間わたり連続に行われた花と全訪花昆虫との相互関係の定性・定量的な分析がある。これらの調査で、両者間の相互関係のほかハナバチ類の分布、相と群集構造、訪花性、季節消長、生態系の保全にもつながる多くの知見がもたらされている。

しかし、営巣性の種(ミツバチ属を除く)において巣構造とこれに関連した生態的諸事項が報告された種数は全営巣性種数の32.7%(97/297)、労働寄生性の種においても寄主が判明している種数も全労働寄生性種の37.1%(35/94)に過ぎない。両者において調査種数が少ない主因は、ハナバチ類の営巣地や巣が見つかりにくいとにある。ほかにも、ハナバチ類の研究者や愛好者が従来から少なかったせいでもある。最近ではその傾向が顕著である。故井上民二先生(京都大学生態学研究センター、大津市)は、生前これを憂慮されていた。この意向に共感した前田は、ハナバチ談話会の開催を提案した。幸い、若手の研究者の協力

を得て、1999年から日本昆虫学会の本大会開催の都度、談話会が開催され、会報(はなばち、ハナバチ談話会ニュースレター)もNo.7(2006)まで発刊され、会も活発な活動が続けられたが、今日では談話会の開催と会報の発刊は途絶えてしまった。今後ともハナバチ研究者や愛好者の増大は期待できないが、有志の出現を待ちたい。パソコンのGoogle scholarなどから検索できない論文や報文もたくさんあると思われるので、表記の著者らと相討って、上述の16項目の知見についてこれまでに発表された論文や報文の目録を作成した。

表中に示した日本産種のうちには、9種の侵入種あるいは導入種が含まれる(表中で*を付した)。これらの種については、侵入先あるいは導入先において研究発表された論文は収録しなかった。

謝 辞

シノニムとされたヒメハナバチ科とコハナバチ科の種の現学名については、松村 雄博士(那須塩原市)と村尾竜起博士(株式会社地域環境計画、福岡市)にご教示をいただいた。両博士に対して深謝の意を表したい。

文 献

- 阿部三郎(1932)トラマルハナバチの巣. 昆虫, 5: 245-247.
- Adhikari, R. D., 前田泰生・泉 洋平・宮永龍一(2016)閉鎖環境下におけるケブカハナバチの営巣活動. 昆虫(ニューシリーズ), 19: 86-93.
- Bosch, J., Y. Maeta and R. Rust (2001) A phylogenetic analysis of nesting behavior in the genus *Osmia* (Hymenoptera: Megachilidae). *Ann. Entomol. Soc. Am.*, 94: 617-627.
- Cronin, A. L. and M. Hirata (2003) Social polymorphism in the sweat bee *Lasioglossum (Evyaleus) baleicum* (Cockerell) (Hymenoptera, Halictidae) in Hokkaido Japan. *Ins. Soc.*, 50: 379-386.
- 深谷昌次(1936)クロハキリバチに就いて. 昆虫界, 4: 844-849.
- 福田弘己・坂上昭一・山内克典・松村 雄(1973)東北海道浜小清水におけるハナバチ相の調査. 日生態誌, 23: 160-170.

- 五箇公一・岡部貴美子・丹羽里美・米田昌浩 (2000) 輸入されたセイヨウマルハナバチのコロニーより検出された内部寄生性ダニとその感染状況. 応動昆, **44**: 47-50.
- 郷原匡史 (2002) 小笠原諸島のハナバチ相とその保全 (杉浦直人・伊藤文紀・前田泰生 (編)「ハチとアの自然史 本能の進化学」). x+318 pp. (229-245). 北大図書刊行会, 札幌.
- 郷原匡史・前田泰生 (2001) シロスジヒゲナガハナバチの大営巣集団. 中国昆虫, (14): 33-34.
- 郷原匡史・前田泰生・日浅雅也 (1993) キヌゲハキリバチに関する若干の生態的知見. 中国昆虫, (7): 29-34.
- 郷右近勝夫 (1981) クロマルハナバチの越冬場所の一例. 東北昆虫, (19): 5-6.
- 郷右近勝夫 (1982) ハバムカシハナバチ (*Colletes babai* Hirashima et Tadauchi) の生態に関する研究. げんせい, (42): 19-32.
- 郷右近勝夫 (1991) クロツヤヒメハナバチ *Andrena (Leucandrena) richardsi* Hirashima の営巣場所と巣構造. 東北昆虫, (29): 6-8.
- 郷右近勝夫 (1992) ススキの枯茎中に営巣するハチ類の生態. 昆虫と自然, **17**: 2-6.
- 郷右近勝夫 (1993) 宮城県花山村における野生ハナバチ相の生態的調査—北日本のブナ林帯での野生ハナバチ相について— 桧山・田代自然環境保全全域学術報告書別刷. pp.197-212.
- 郷右近勝夫 (2012) ハチの糸 (齋藤 裕・佐原 健 (編)「糸の博物誌 ムシたちが糸で織りなす多様な世界」). ix+195 pp. (99-130). 海游舎, 東京.
- 郷右近勝夫 (2014) トモンハナバチの東北地方の分布および訪花性と若干の生態的知見. 東北昆虫, (51): 1-4.
- 郷右近勝夫 (2018) 宮城県産ムカシハナバチ科ムカシハナバチ属4種の分布および訪花特性. インセクトマップオブ宮城, (49): 4-12.
- 郷右近勝夫・前田泰生 (1978) キイロゲンセイの新寄主. 東北昆虫, (16): 2.
- 郷右近勝夫・前田泰生 (2008) ミックリヒゲナガハナバチの営巣生態. 中国昆虫, (22): 55-66.
- 郷右近勝夫・前田泰生 (2022) 日本産4種のヒメハナバチ類, コガタウツギヒメハナバチ, アカアシヒメハナバチ, シロヤヨイヒメハナバチ, エチゼンヒメハナバチの巣構造と若干の生態的知見. ホシザキグリーン財団研究報告, (25): 203-215.
- 郷右近勝夫・前田泰生・宮永龍一 (1996) クズハキリバチの大営巣集団. 中国昆虫, (10): 11-16.
- 郷右近勝夫・宮永龍一・前田泰生 (1999) 西表島産サキシマコハキリバチ *Heriades (Michenerella) sakishimanus* Yasumatsu et Hirashima の営巣生態. 中国昆虫, (13): 15-22.
- Gôukon, K. and Y. Maeta (2016a) Overwintering stages on an autumnal bee, *Colletes collaris* Dours (Hymenoptera, Colletidae). *New Entomol.*, **65**: 105-106.
- Gôukon, K. and Y. Maeta (2016b) New host record of *Coelioxys (Boreocoelioxys) hosoba* Nagase (Hymenoptera, Megachilidae). *New Entomol.*, **65**: 107-108.
- Gôukon, K. and Y. Maeta (2018) Notes on the further development of overwintering young larvae of *Colletes collaris* Dours (Hymenoptera, Colletidae). *Chugoku Kontyu*, (31): 1-2.
- Gôukon, K. and Y. Maeta (2021a) Nesting biology of a Japanese sand-nesting andrenid bee, *Andrena (Parandrena) yasumatsui* Hirashima (Hymenoptera, Andrenidae). *Bull. Hoshizaki Green Found.*, (24): 261-272.
- Gôukon, K. and Y. Maeta (2021b) Nesting biology of a Japanese andrenid bee, *Andrena (Ptilandrena) togashii* Tadauchi et Hirashima (Hymenoptera, Andrenidae). *Bull. Hoshizaki Green Found.*, (24): 273-280.
- Gôukon, K., S. F. Sakagami and Y. Maeta (1982) Seasonal changes in ovarian state in a eusocial halictine bee, *Lasioglossum duplex*, based on stages of the oldest oocytes in each ovariole (Hymenoptera: Halictidae). *Res. Popul. Ecol.*, **29**: 255-269.
- Gôukon, K., S. F. Sakagami and Y. Maeta (1986) Bionomic comparison of two populations of a eusocial halictine bee, *Lasioglossum duplex*, in northern Japan. *Jpn. J. Ecol.*, **35**: 587-600.
- 林原毅一郎・前田泰生・北村憲二 (2011) 山陰地方において同所的に分布するスイカズラ科2種, ウグイスカグラとタニウツギにおけるポリネーション・シンドローム. ホシザキグリーン財団研究報告, (14): 1-30.
- Hannan, Md. A. and Y. Maeta (2007) Nesting biology and the nest architecture of *Lithrugus (Lithrugus) collaris* Smith (Hymenoptera: Megachilidae) on Iriomote Island, southwestern archipelago, Japan. *J. Kansas entomol. Soc.*, **80**: 213-222.
- Hannan, Md. A., Y. Maeta and K. Hoshikawa (1997) Colony development of two species of Japanese bumble bees *Bombus (Bombus) ignitus* and *Bombus*

- (*Bombus hypocrita*) reared under artificial condition (Hymenoptera, Apidae). *Jpn. J. Ent.*, **65**: 343-354.
- Hannan, Md. A., Y. Maeta and K. Hoshikawa (1998) Feeding behavior and food consumption in *Bobombus* (*Bombus*) *ignitus* under artificial condition (Hymenoptera, Apidae). *Ent. Sci.*, **1**: 27-32.
- Hannan, Md. A., K. Kitamura and Y. Maeta (2005) A nesting site of *Megachile igniscopata* Cockerell founded in Iriomote Is., southernmost archipelago, Japan. *Chugoku Kontyu*, (18): 53-54.
- Hannan, Md. A., Y. Maeta and R. Miyana (2013) Nesting biology and life cycle of *Nomia* (*Acunomia*) *chalybeata* Smith on Iriote Island, southernmost archipelago of Japan, with notes on the simultaneous occurrence of diapausing and non-diapausing prepupae within the same nests (Hymenoptera: Halictidae). *J. Saudi Soc. Agric. Sci.*, **12**: 91-99.
- 平嶋義宏 (1957) シロオビツツハナバチの生活史及び習性関する知見の補遺. 九大学芸雑誌, **16**: 193-202.
- 平嶋義宏 (1958) シロオビツツハナバチとオオツツハナバチの営巣習性に関する研究. 九大農学芸雑誌, **17**: 481-497.
- 平嶋義宏 (1959a) シロオビツツハナバチの巣の雌雄の産み分けについて. 九大農学芸雑誌, **17**: 45-54.
- 平嶋義宏 (1959b) シロオビツツハナバチとコツノツツハナバチの処女生殖に関する生態学的研究. 九大農学芸雑誌, **17**: 55-68.
- 平嶋義宏 (1964) 日本産及び琉球列島産のクマバチについて 一付, J. C. Harrell による巣の記録— 昆虫, **32**: 341-351.
- 平嶋義宏 (1972) 孤独性蜂類の巢中における蛹の定位に関する研究. 九大農学芸誌, **26**: 27-45.
- Hirashima, Y. (1961) Monographic study of the subfamily Nomiinae of Japan (Hymenoptera, Apoidea). *Acta Hym.*, **1**: 241-303.
- Hirashima, Y. (1962) Systematic and biological studies of the family Andrenidae of Japan (Hymenoptera, Apoidea). Part I. Biology. *J. Fac. Agric., Kyushu Univ.*, **12**: 1-20.
- Hirashima, Y. (1966) Bionomics of two new Japanese halictine bees (Hymenoptera, Apoidea). *J. Fac. Agric., Kyushu Univ.*, **13**: 673-703.
- Hirashima, Y. and H. Nagase (1981) New or little known bees of Japan (Hymenoptera, Apoidea). III. *Pasites esakii*, a genus and species new to Japan. *Esakia*, (17): 49-52.
- Hirata, M. and S. Higashi (2008) Degree-day accumulation of controlling allopatric and subpatric variation in the sociality of sweat bee, *Lasioglossum* (*Erylaeus*) *baleicum* (Hymenoptera, Halictidae). *Behav. Ecol. Sociobiol.*, **62**: 1239-1247.
- 比田井七郎・前田泰生 (2009) ツツハナバチにおける育房壁の作製位置の測定行動. 中国昆虫, (23): 47-55.
- 伊宝真理子・山根爽一 (1985) 茨木県御前山麓における野生ハナバチ相とその生態学的調査. 茨木大教育学部紀要 (自然科学), (34): 57-74.
- 飯田吉之助 (1932) *Osmia taurus* Smith の生態. 関西昆虫学会報, **3**: 67-72.
- 飯田吉之助 (1934) キムネクマバチの習性について. 関西昆虫学会, **5**: 66-73.
- 幾留秀一 (1974) 高知県におけるシロオビツツハナバチの習性. げんせい, (27): 15-22.
- 幾留秀一 (1975) フカイヒメハナバチの生活史及び習性に関する知見. げんせい, (28): 19-23.
- 幾留秀一 (1978) 高知平野における野生ハナバチ相の生態的調査. 昆虫, **46**: 512-536.
- 幾留秀一 (1979a) 高知県土佐郡土佐村におけるハナバチ類生態的調査. 昆虫, **47**: 416-428.
- 幾留秀一 (1979b) 高知平野におけるハキリバチ科ハナバチ 15 種の訪花性. げんせい, (36): 9-15.
- 幾留秀一 (1980) 高知平野におけるヒメハナバチ科ハナバチ 20 種の訪花性. 鹿児島女子短大紀要, (15): 311-326.
- 幾留秀一 (1992) 都市型自然公園の環境とハナバチ相—鹿児島市城山公園における調査結果— 鹿児島女子短大紀要, (27): 99-135.
- 幾留秀一 (1995) 宮崎県の山間部および人里地域におけるハナバチ類のフェノロジー—鰐塚山および曾山寺における調査結果—宮崎東諸県の生物—その分類学・生態学新知見— pp. 73-96.
- 幾留秀一 (2005) 屋久島人里地域における野生ハナバチ相の生態的研究. 鹿児島女子短大紀要, (40): 1-20.
- 生島義夫 (1934) キムネクマバチ (*Xylocopa appendiculata* Smith) の生態観察. 関西昆虫学会報, **5**: 81-88.
- 生島義夫 (1936) クロツノハキリバチ (*Osmia excavata* Alfken). 関西昆虫学会, **3**: 43-63.
- Inoue, T., M. Kato, T. Kakutani, T. Suga and T. Itino (1990). Insect-flower relationship in the temperate

- deciduous forest of Kibune, Kyoto: An overview of the flowering phenology and seasonal pattern of insect visits. *Contr. Biol. Lab., Kyoto Univ.*, **27**: 377-463.
- 石井英世・山根爽一 (1981) 茨城県八溝山における野生ハナバチの調査. 茨木大教育学部紀要, (30): 45-59.
- 伊藤文紀 (2009) 香川県高松市のヤマトハキリバチの集団営巣地でホソトガリハナバチを採集. 中国昆虫, (23): 37-38.
- 岩田久二雄 (1938a) 臺灣産数種の蜜蜂の習性 (I). 臺灣博物学会會報, **28**: 197-204.
- 岩田久二雄 (1938b) 臺灣産数種の蜜蜂の習性 (II). 臺灣博物学会會報, **28**: 205-215.
- 岩田久二雄 (1939) 尖花蜂類の1種の生態. むし, **12**: 37-38.
- 岩田久二雄 (1941) 日本内地産葉切蜂六種の習性考察. 高津中学紀元二六〇〇年記念論文集, pp.139-248.
- 岩田久二雄 (1956a) 子供の巣をつくって食物をたくわえる虫. (五) ハナバチのさまざまな生活. 「昆虫と巣」. 2+3+251 pp. 8図版. (117-132). 陸水社, 東京.
- 岩田久二雄 (1956b) ほかの虫に子供の巣をつくらせる虫. (三) ヤドリハナバチの生活. 「昆虫と巣」. 2+3+251 pp. 8図版. (151-156). 陸水社, 東京.
- 岩田久二雄 (1957) コウヤツリアブの生態に関する覚え書き. 生態昆虫, **6**: 25-32.
- 岩田久二雄 (1959) 花のみつと花粉をめぐる花バチの世界—オオハキリバチを中心に (岩田久二雄・古川晴夫晴男・安松京三 (編) 「日本昆虫記 III, ハチとアリの生活」). 245 pp. (7-53). 講談社, 東京.
- 岩田久二雄 (1971a) 植物体内に屈坑する花蜂の習性. 「本能の進化—蜂の比較習性学的研究」. iii+503 pp. (324-323). 真野書店, 東京.
- 岩田久二雄 (1971b) 植物体内に営巣する花蜂の習性. 「本能の進化—蜂の比較習性学的研究」. iii+503 pp. (348-375). 真野書店, 東京.
- 岩田久二雄 (1971c) 樹脂か蠟で巣を造る花蜂の習性. 「本能の進化—蜂の比較習性学的研究」. iii+503 pp. (376-389). 真野書店, 東京.
- 岩田久二雄 (1971d) 労働寄生性の狩蜂と花蜂の習性. 「本能の進化—蜂の比較習性学的研究」. iii+503 pp. (390-493). 真野書店, 東京.
- 岩田久二雄 (1974) ヤマトハキリバチの観察. 「ハチの生活」. 220 pp. (15-26). 岩波書店, 東京.
- 岩田久二雄 (1975a) ハナバチの労働寄生. 「自然観察者の手記—昆虫とともに五十年」. 565+18 pp. (39-48). 朝日新聞社, 東京.
- 岩田久二雄 (1975b) 地中にすむ二種のハナバチ. 「自然観察者の手記—昆虫とともに五十年」. 565+18 pp. (48-58). 朝日新聞社, 東京.
- 岩田久二雄 (1975d) 末子相続のタケクマバチ. 「自然観察者の手記—昆虫とともに五十年」. 565+18 pp. (159-166). 朝日新聞社, 東京.
- 岩田久二雄 (1975e). タマリンドウとネジロハキリバチ. 「自然観察者の手記—昆虫とともに五十年」. 565+18 pp. (187-191). 朝日新聞社, 東京.
- 岩田久二雄 (1975f) ヒビカスの花とキホリハナバチ. 「自然観察者の手記—昆虫とともに五十年 (II)」. 565+18 pp. (381-386). 朝日新聞社, 東京.
- 岩田久二雄 (1978a) クマバチの母子同居生活. 「昆虫を見つめて50年 (II)」. 310+xix pp. (5-26). 朝日新聞, 東京.
- 岩田久二雄 (1978b) ミカン山のマイマイオスミアとセイボウ. 「昆虫を見つめて50年 (II)」. 310+xix pp. (250-263). 朝日新聞, 東京.
- 岩田久二雄 (1980). 春の家蜂代表ツツハナバチ. 「昆虫を見つめて50年 (IV)」. 232+xxix pp. (5-27). 朝日新聞, 東京.
- 岩田久二雄・小島圭三・松浦 誠・郷右近勝夫 (1982) 日本蜂類生態図鑑 生活行動で分類した有剣蜂. 162 pp. 講談社, 東京.
- Iwata, K. (1932) Ecological notes on *Ceratina japonica* Cockerell (Hymenoptera, Ceratinidae). *Mushi*, **5**: 14-20.
- Iwata, K. (1933) Studies on the nesting habits and parasites of *Megachile sculpturalis* Smith (Hymenoptera, Megachilidae). *Mushi*, **6**: 4-24. 2 pls.
- Iwata, K. (1951) Observation on *Bombus diversus* Smith (Hymenoptera, Apidae). *Mushi*, **22**: 51-58.
- Iwata, K. (1964) Egg gigantism in subtropical Hymenoptera, with ethological discussion on tropical bamboo carpenter bees. *Nat. Life South Asia*, **3**: 399-434. 1 pl.
- Kakutani, T., T. Inoue, M. Kato and H. Ichihashi (1990) Insect-flower relationship in the campus of Kyoto University, Kyoto: An overview of the flowering phenology and seasonal pattern of insect visits. *Contr. Biol. Lab., Kyoto Univ.*, **27**: 465-521.
- Kanbe, Y., I. Okada, M. Yoneda, K. Goka and K. Tsuchida (2008) Interspecific mating of the introduced bumblebee *Bombus terrestris* and the native Japanese

- bumblebee *Bombus hypocrita sapporensis* results in inviable hybrids. *Naturwissenschaften*, **95**: 1003-1008.
- 片山栄助 (1964) コマルハナバチ *Bombus ardens* Smith の後期コロニーの観察. *Kontyû*, **32**: 393-402.
- 片山栄助 (1966) コマルハナバチおよびトラマルハナバチの巣の観察. *インセクト*, **17**: 1-6.
- 片山栄助 (1967) クロマルハナバチの生態, 特に営巣習性について. *Kontyû*, **35**: 343-352.
- 片山栄助 (1970) クモの巣に営巣された *Megachile tsurugensis* Cockerell の巣について. *昆虫*, **38**: 162-167.
- 片山栄助 (1976) マルハナバチ類の産卵と育児. *インセクトリウム*, **13**: 213-217.
- 片山栄助 (1987a) マルハナバチ女王の産卵数. *インセクトリウム*, **24**: 366-371.
- 片山栄助 (1997b) スミスハキリバチの営巣習性. *応動昆*, **41**: 153-169.
- 片山栄助 (1998) マルハナバチの産卵・育児習性. *昆虫と自然*, **33**: 12-16.
- 片山栄助 (2001) ムナカタハキリバチの営巣習性について. *New Entomol.*, **50**: 21-27.
- 片山栄助 (2002) マルハナバチのコロニーにおける生殖虫の生産 (杉浦直人・伊藤文紀・前田泰生 (編) 「ハチとアリの自然史 本能の進化」) x+318 pp. (135-147). 北大図書刊行会, 札幌.
- 片山栄助 (2003) クサレダマの訪花ハナバチとそれらの花粉採集状況について. *インセクト*, **54**: 85-88.
- 片山栄助 (2004) クズハキリバチの営巣習性, 特に育房葉片の加工と接着状況について. *Jpn. J. Ent. (N.S.)*, **7**: 1-10.
- 片山栄助 (2005) クロマルハナバチの初期巣. *中国昆虫*, (19): 1-5.
- 片山栄助 (2007) マルハナバチ 愛嬌者の知られざる生態. 189 pp. 北大出版会, 札幌.
- 片山栄助 (2008a) マルハナバチ類のコロニーサイズ. *昆虫と自然*, **43**: 4-8.
- 片山栄助 (2008b) マルハナバチ類の外部捕食者ミカドアリバチ *Mutilla mikado* Cameron の産卵習性. *昆虫 (ニューシリーズ)*, **11**: 57-68.
- 片山栄助 (2010) コマルハナバチ *Bombus ardens ardens* Smith の巣構造の追加記録, とくに巣構造, コロニー構成, およびコロニーサイズについて. *New Entomol.*, **59**: 9-22.
- 片山栄助 (2011) トラマルハナバチ巨大巣の記録, 特に巣構造, コロニー構成とコロニーサイズ (ハチ目, ミツバチ科). *昆虫 (ニューシリーズ)*, **14**: 2-10.
- 片山栄助・高見沢朝雄 (2004) オオマルハナバチ *Bombus (Bombus) hypocrita hypocrita* Pérez の巣の追加構造, 特に巣の構造とコロニーサイズについて. *Jap. J. Ent. (N.S.)*, **7**: 105-118.
- 片山栄助・松田 喬 (2012) キョウトハキリバチ *Megachile kytensis* Alfken の営巣生態と巣構造. *昆虫 (ニューシリーズ)*, **15**: 159-171.
- 片山栄助・高見沢朝雄・落合弘典 (2008) ヒメマルハナバチとナガマルハナバチの巣構造, コロニー構成およびコロニーサイズ. *New Entomol.*, **57**: 5-14.
- Katayama, E. (1965) Studies on the development of the broods of *Bombus diversus* Smith (Hymenoptera, Apidae). *Kontyû*, **33**: 291-298.
- Katayama, E. (1966) Studies on the development of the broods of *Bombus diversus* Smith (Hymenoptera, Apidae). II. Brood development and feeding habits. *Kontyû*, **34**: 8-17.
- Katayama, E. (1971) Observations on the brood development in *Bombus ignitus* (Hymenoptera, Apidae). I. Egg-laying habits of queen and workers. *Kontyû*, **39**: 189-203.
- Katayama, E. (1973) Observations on the brood development in *Bombus ignitus* (Hymenoptera, Apidae). II. Brood development and feeding habits. *Kontyû*, **39**: 189-203.
- Katayama, E. (1974) Egg-laying habits and brood development in *Bombus hypocrita* (Hymenoptera, Apidae). I. Egg-laying habits of queens and workers. *Kontyû*, **42**: 416-438.
- Katayama, E. (1975) Egg-laying habits and brood development in *Bombus hypocrita* (Hymenoptera, Apidae). II. Brood development and feeding habits. *Kontyû*, **39**: 478-496.
- Katayama, E. (1996) Survivorship curves and longevity for workers of *Bombus ardens* Smith and *Bombus diversus* Smith (Hymenoptera, Apidae). *Jpn. J. Ent.*, **64**: 111-121.
- Katayama, E. (1989) Comparative studies on the egg-laying habits of some Japanese species of bumblebees (Hymenoptera, Apidae). *Ent. Soc. Jpn., Occasional Publ.*, No. 2. 161 pp.
- Katayama, E. (1997) Oviposition and oophagy by workers in queenright colonies of *Bombus (Pyrobombus) ardens* (Hymenoptera, Apidae). *Jpn. J. Ent.*, **65**: 23-35.

- Katayama, E. (2001) Nesting biology of Japanese leaf-cutting bee, *Megachile willughbiella munakatai* Hirashima et Maeta (Hymenoptera, Megachilidae). *New Entomol.*, **50**: 21–27.
- Katayama, E. and Y. Maeta (1979) Brood development and adult activities of a small carpenter bee, *Ceratina megastigmata* (Hymenoptera: Anthophoridae). *Kontyû*, **47**: 139–157.
- Katayama, E. and Y. Maeta (1998) The fourth host of *Physocephara obscura* Kröber found in Japan (Diptera, Conopidae). *Chugoku Kontyû*, (12): 23.
- Katayama, E., H. Ochiai and K. Takamizawa (1990) Supplementary notes on nests of some Japanese bumblebees. II. *Bombus ussurensis*. *Jpn. J. Ent.*, **58**: 335–346.
- Katayama, E., K. Takamizawa and H. Ochiai (1993) Supplementary notes on the nests of some Japanese bumblebees. III. *Bombus (Thoracobombus) deuteronymus maruhanabachi*. *Jpn. J. Ent.* **61**: 749–761.
- Katayama, E., K. Takamizawa and H. Ochiai (1996) Notes of the Japanese bumblebee, *Bombus (Diversobombus) diversus diversus*: Supplemental observations. *New Ent.*, **45**: 23–33.
- Kato, M. (1992) Endangered bee fauna and its floral hosts in the Ogasawara Island. *Jpn. J. Ent.*, **60**: 487–494.
- Kato, M., M. Mitsumoto and T. Kato (1993) Flowering phenology and anthophilous insect community in cool-temperate subalpine forests and meadows at Mt. Kushigata in the central part of Japan. *Contr. Biol. Lab., Kyoto Univ.*, **28**: 119–172, 1 pl.
- Kato, M., T. Kakutani, T. Inoue and T. Itino (1990) Insect-flower relationship in the primary beach forest of Ashu, Kyoto: An overview of the flowering phenology and seasonal pattern of insect visits. *Contr. Biol. Lab., Kyoto Univ.*, **27**: 309–375.
- 香取郁夫・田丸真弓・横井智之 (2010) 送粉昆虫マイマイツツハナバチの営巣習性. 応動昆, **54**: 77–84.
- 川村 満 (1954) *Osmia pedicornis* (ツツハナバチの1種)の習性について. げんせい, **3**: 27–33.
- 川村 満 (1957) ヒメハナバチの1種の巣の1観察. げんせい, **5**: 19–20.
- 川村 満 (1961) ヒメハナバチの1種 (*Andrena prostomias* Pérez) の生態について (日本産花蜂類の社会構造の研究 I). げんせい, **11**: 11–22.
- 川村 満 (1951) ネジロハキリバチ (*Megachile disjunctiformis*) の習性. 新昆虫, **4**: 15–17.
- Kawazoe, K., K. Okabe, A. Kawakita and M. Kato (2010) An alien *Sennertia* mite (Acari: Chaetodactylidae) associated with an introduced Oriental bamboo-nesting bee (Hymenoptera: Apidae: Xylocopinae) invading the central Honshu Island, Japan. *Ent. Sci.*, **13**: 303–310.
- Kifune, T. (1991a) Two new species of the genus *Stylops* (Strepsiptera, Stylopidae) with styloped records of the andrenid bees in Japan (Studies on the Japanese Strepsiptera XIV). *Jpn. J. Ent.*, **59**: 155–163.
- Kifune, T. (1991b) Descriptions of four new species of the genus *Halictoxenos* (Strepsiptera, Stylopidae) from Japan. *Jpn. J. Ent.*, **59**: 367–374.
- Kifune, T. and Y. Hirashima (1985) Nine new species of the genus *Stylops* (Strepsiptera: Stylopidae) parasitic on the genus *Andrena* (Hymenoptera: Andrenidae) of Japan (Studies on the Japanese Strepsiptera X). *Esakia*, (23): 45–57.
- Kifune, T. and Y. Maeta (1990) Ten new species of the genus *Stylops* (Strepsiptera, Stylopidae) parasitic on the genus *Andrena* (Hymenoptera, Andrenidae) of Japan (Studies on the Japanese Strepsiptera XIII). *Esakia, Special Issue*, (1): 97–110.
- Kifune, T. and Y. Maeta (2006) Distributional records and a taxonomical note on the genus *Halictoxenos* in Japan (Strepsiptera, Stylopidae), with a list of Strepsiptera, occurring in Okinawa Prefecture (Studies on the Japanese Strepsiptera XVI). *Chugoku Kontyû*, (20): 71–73.
- Kifune, T., Y. Hirashima and Y. Maeta (1982) Four new species of the genus *Halictoxenos* Pierce from Japan (Strepsiptera, Stylopidae) (Studies on the Japanese Strepsiptera VI). *Esakia*, (19): 151–160.
- 北村泰三・前田泰生 (1968) 桃の品種とマメコバチの訪花活動について. 長野園試報, (7): 13–18.
- Kitamura, T. and Y. Maeta (1969) Studies on the pollination of apple by *Osmia*. (III) Preliminary report on the homing ability of *Osmia cornifrons* (Radoszkowski) and *O. pedicornis* Cockerell. *Kontyû*, **37**: 83–90.
- 北村憲二・前田泰生・皆木宏明 (2000) 日本産ハキリバチ属における円形葉片の裁断習性について. *New Entomol.*, **49**: 29–32.
- 北村憲二・前田泰生・高橋公貴・宮永龍一 (2001) キホリハナバチ (ハチ目: ハキリバチ科) の坑道の直径と胸厚の関係. *Jpn. J. Ent. (N.S.)*, **4**: 49–61.
- 北村憲二・前田泰生・皆木宏明・郷原匡史 (2001) サ

- キシマキヌゲハキリバチの営巣生態に関する知見, *New Entomol.*, **50**: 43-50.
- Kitamura, K., Y. Maeta, Y. Tanaka and R. Miyanaga (2009) Nesting biology of a solitary bee, *Andrena (Notoandrena) richardsi* Hirashima on Mt. Daisen, south-western Japan (Hymenoptera, Andrenidae). *New Entomol.*, **58**: 37-56.
- Kojima, J. (1979) Observation on the nest structure of the Japanese large carpenter bee, *Xylocopa appendiculata circumvolans* Smith (Hymenoptera, Anthophoridae). *New Entomol.*, **23**: 33-38.
- 楠本公治 (1990) (Hym.: Colletidae) ババムカシハナバチ *Colletes babai* Hirashima et Tadauchi の天敵について. *Pulex*, (78): 390.
- 屈 達才・前田泰生・郷原匡史・中塚硬三・北村憲二 (2002) マメコバチを加害する労働寄生性コナダニ類 2 種の繁殖戦略 I. 侵入, 加害様式と餌の分割利用. *Jpn. J. Ent. (N.S.)*, **6**: 121-141.
- 屈 達才・前田泰生・中塚硬三・北村憲二・郷原匡史 (2003) マメコバチを加害する労働寄生性コナダニ類 2 種の繁殖戦略 II. 生活史, 便乗部位, 発育および繁殖. *Jpn. J. Ent. (N.S.)*, **6**: 55-73.
- 栗原守久・前田泰生・仲西耕太郎 (1997) 合成幼若ホルモン処理によるマメコバチの人為的休眠覚醒. *中国昆虫*, (11): 39-46.
- 前田泰生 (1966) 孤独性, コガタノコハナバチの生態学的研究. (I) 営巣環境と営巣密度の変遷. *昆虫*, **34**: 223-231.
- 前田泰生 (1969) キオビツヤハナバチの天敵, *Hockeria* sp. について. *昆虫*, **37**: 246.
- 前田泰生 (1972) 土中に営巣したバラハキリバチ (*Megachile nipponica* Cockerell) の巣の 2 例. *東北昆虫*, (10): 1-3.
- 前田泰生 (1973) トモンハナバチの巣の 1 例. *生物研究*, **17**: 74-76.
- 前田泰生 (1975) 巣箱の配置距離とマメコバチとツツハナバチの定着との関係. *東北昆虫*, (12): 3-5.
- 前田泰生 (1978a) 日本産ツツハナバチ類の比較生態学的研究, 特に花粉媒介昆虫としての利用とマネージメントについて. *東北農試研報*, (57): 1-221.
- 前田泰生 (1978b) 仕切壁をアスファルトで造ったオオハキリバチの巣. *東北昆虫*, (16): 2.
- 前田泰生 (1979a) ヤマトハキリバチの生態的研究 (I) 営巣習性と巣構造. *東北農試研報*, (61): 59-68.
- 前田泰生 (1979b) バラハキリバチモドキの若干の生態的知見. (I) 営巣習性と巣構造. *岩手蟲乃會報*, (2): 9-13.
- 前田泰生 (1979c) 雌雄を任意に産み分けるハナバチ. *インセクトarium*, **16**: 192-198.
- 前田泰生 (1980a) マイマイツツハナバチの巣構造の補遺. *岩手蟲乃會報*, (5): 1-4.
- 前田泰生 (1980b) バラハキリバチモドキの若干の生態的知見. (II) 生活史の概略と訪花性. *岩手蟲乃會報*, (4): 13-15.
- 前田泰生 (1980c) アルファルファハキリバチの偶発巣. *東北昆虫*, (18): 3-4.
- 前田泰生 (1983) 待てば甘露の日和あり. キロゲンセイの風変わりな生活史. *アニマ*, (120): 85-90.
- 前田泰生 (1985) 日本産 *Melittobia* 属 3 種の分布. *東北昆虫* (23): 4.
- 前田泰生 (1993a) マメコバチを利用したリングの受粉 (井上民二・加藤 真 (編) 「花に引き寄せられる動物」), 286 pp. (195-232). 平凡社, 東京.
- 前田泰生 (1993b) イワタツヤハナバチの社会 (井上民二・山根爽一 (編) 「昆虫の社会進化ハチの比較社会学」), vii + 532 pp. (3-33). 博品社, 東京.
- 前田泰生 (1999a) ヒメツツハキリバチの生態的研究. *Jpn. J. Ent. (N.S.)*, **2**: 127-147.
- 前田泰生 (1999b) タイワンツヤハキリバチ *Megachile igniscopata* Cockerell の営巣習性の補遺. *中国昆虫*, (13): 43-45.
- 前田泰生 (2000) 但馬・楽音寺のウツギヒメハナバチ その生態と保護. 200 pp. 海游舎, 東京.
- 前田泰生 (2002) 北日本におけるヤマトツヤハナバチとキオビツヤハナバチの天敵. *中国昆虫*, (15): 1-13.
- 前田泰生 (2005) 在来野生ハナバチ 2 種, マメコバチとヒメハキリバチのアルファルファの送粉昆虫としての利用. *中国昆虫*, (19): 27-36.
- 前田泰生 (2007) ツツハナトゲアシコバチの休眠覚醒. *中国昆虫*, (21): 19-28.
- 前田泰生 (2012a) 同所種・同胞種, ヤマトツヤハナバチとキオビツヤハナバチの北日本における営巣活動の季節推移と幼態の発育. *中国昆虫*, (26): 7-20.
- 前田泰生 (2012b) 北日本におけるキオビツヤハナバチとヤマトツヤハナバチの越冬生態. *中国昆虫*, (26): 21-37.
- 前田泰生 (2014) 狭食性種, ホオナガヒメハナバチの花資源植物. *ホシザキグリーン財団研究報告*, (17): 55-57.
- 前田泰生 (2015) アシプトネジレバネに関する若干の

- 生態的知見. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 41-45.
- 前田泰生 (2018) 釣鉢に営巣したクズハキリバチ. ホシザキグリーン財団研究報告, (21): 199-207.
- 前田泰生・佐藤 拓 (1971) ニホンヅクロハキリバチの生態に関する研究 (1) 営巣習性と巣の構造. 生物研究, 15: 67-65.
- 前田泰生・北村泰三 (1979) トモンハナバチの巣構造. 東北昆虫, (17): 5.
- 前田泰生・郷右近勝夫 (1980) ツヤハナバチ 2 種の偶発巣. *New Entomol.*, 29: 11-14.
- 前田泰生・杉浦直人 (1988) 山陰地方のハナバチ相 (I) ハキリバチ科. すかしば, (30): 1-10.
- 前田泰生・日浅雅也 (1994) アカアシセジロクマバチの放棄巣の受継営巣. 中国昆虫, (8): 53-55.
- 前田泰生・宮永龍一 (1997) アイヌハキリバチの若干の生態的知見. 中国昆虫, (11): 19-29.
- 前田泰生・宮永龍一 (1998) オオムカシハナバチの新分布地. 中国昆虫, (12): 12-15.
- 前田泰生・皆木宏明 (1999) キヌゲハキリバチの巣構造. ホシザキグリーン財団研究報告, (3): 165-172.
- 前田泰生・足立恵子 (2005) 単独性アルファルファハキリバチの営巣行動. 中国昆虫, (18): 5-21.
- 前田泰生・北村憲二 (2007) 日本産ツツハナバチ類の成虫休眠の覚醒に関する研究. 中国昆虫, (21): 19-28.
- 前田泰生・宮永龍一 (2018) ケブカコシブトハナバチの若干の生態的知見. 中国昆虫, (31): 7-12.
- 前田泰生・佐々木陽一 (2018) ハナバチ類における労働寄生蜂の寄生様式と寄生率. ホシザキグリーン財団研究報告, (21): 169-197.
- 前田泰生・真木芳助・早川力夫 (1973) 野生花蜂によるアルファルファの採種 第1報アルファルファハキリバチの巣の構造と葉片裁断による被害. 日草誌, 19: 161-170.
- 前田泰生・北村泰三・岡崎克則 (1978) オキナワツヤハナバチの天敵. 東北昆虫, (16): 1.
- 前田泰生・郷原匡史・郷右近勝夫 (1988) ツヤハナアシブトコバチの分布と寄主. 中国昆虫, (2): 8.
- 前田泰生・佐々木陽一・藤本義圓 (1988) 但馬, 楽音寺のウツギヒメハナバチ. インセクトラウム, 25: 50-70.
- 前田泰生・宮永龍一・郷原匡史 (1994) 同所性の2種ツヤハナバチ類における営巣場所の棲み分けと花資源の利用様式. 中国昆虫, (8): 1-12.
- 前田泰生・宮永龍一・岡島安宏 (1996) ハキリバチ 2 種の巣構造. 中国昆虫, (10): 1-10.
- 前田泰生・吉田 亮・宮永龍一 (2001) フタモンカタコハナバチの生態及び社会性に関する若干の知見. 中国昆虫, (14): 11-19.
- 前田泰生・皆木宏明・北村憲二 (2001) 完全な正円を裁断するサキシマキヌゲハキリバチ. 中国昆虫, (14): 27-30.
- 前田泰生・佐々木陽一・北村憲二 (2002) オオハキリバチとその労働寄生蜂の生活 (杉浦直人・伊藤文紀・前田泰生 (編) 「ハチとアリの自然史 本能の進化」). x+318 pp. (71-94). 北大図書刊行会, 札幌.
- 前田泰生・宮永龍一・北村憲二 (2003) 三瓶山における野生ハナバチ相の生態的研究. *New Entomol.*, 52: 19-47.
- 前田泰生・藤原光博・北村憲二 (2004) ミツクリフシダカヒメハナバチの生態的知見. *Jpn. J. Ent.*, 7: 155-171.
- 前田泰生・大對圭一・宮永龍一 (2017) 広島県竜王山における野生ハナバチ相の生態的研究. 中国昆虫, (30): 5-38.
- 前田泰生・郷右近勝夫・北村憲二 (2017) ハキリバチ類が育房作製に使用する葉片の形態とその裁断. ホシザキグリーン財団研究報告, (20): 5-17.
- 前田泰生・杉浦直人・清水秀美・宮永龍一 (2001) アオスジコシブトハナバチ八重山亜種の巣の構造と天敵. 中国昆虫, (14): 21-26.
- 前田泰生・北村憲二・松本圭司・宮永龍一 (2004) 海浜における送粉生態系の保全に関する研究. 2. 山陰地方の海浜性植物ハマゴウ (クマツヅラ科) における有剣類の送粉様式. ホシザキグリーン財団研究報告, (7): 275-303.
- 前田泰生・吉田 亮・宮永龍一・郷右近勝夫 (2008) 西南日本におけるホクダイコハナバチの生態. ホシザキグリーン財団研究報告, (11): 103-119.
- 前田泰生・ハンナン Md. A.・宮永龍一・郷右近勝夫 (2010) 島嶼における昆虫媒植物と訪花昆虫の相互関係. ホシザキグリーン財団研究報告, (13): 45-78.
- 前田泰生・林原友紀・岩田眞木郎・宮永龍一 (2011) 亜熱帯産サキシマツヤハナバチ *Ceratina (Ceratinidia) okinawana sakishimensis* Shiokawa には休眠性があるか? 中国昆虫, (25): 5-14.
- Maeta, Y. (1969) Two examples of nest supersedure within the genus *Osmia*. *Life Study*, 8: 41-43.

- Maeta, Y. (1978) A preliminary study on the physical control of *Melittobia acasta* (Walker) by cold treatment (Hymenoptera: Eulophidae). *Bull. Tohoku Natl. Agric. Expt. Stn.*, (58): 211–229.
- Maeta, Y. (2011) Floral resources and foraging activity of the nomiine bee, *Lipotriches (Lipotriches) yasumatsui* (Hirashima) in northern Honshu, Japan (Hymenoptera, Halictidae, Nomiinae). *Chugoku Kontyu*, (25): 15–31.
- Maeta, Y. (2014a) In-nest behaviors and artificially induced multifemale nests in *Ceratina (Neoceratina) spinipes* Shiokawa (Hymenoptera, Apidae, Xylocopinae). *Bull. Hoshizaki Green Found.*, (17): 59–85.
- Maeta, Y. (2014b) Life history and nesting biology of the solitary halictine bee, *Lasioglossum (Evylaeus) vulsum* (Vachal) (Hymenoptera, Halictidae). *Bull. Hoshizaki Green Found.*, (17): 87–104.
- Maeta, Y. (2017) Nesting biology and management of *Megachile (Chelostomoda) spissula* Cockerell (Hymenoptera, Megachilidae). *Bull. Hoshizaki Green Found.*, (20): 115–146.
- Maeta, Y. (2018) Reproduction of *Megachile rotundata* in greenhouse and field (Hymenoptera, Megachilidae). *Bull. Hoshizaki Green Found.*, (21): 231–243.
- Maeta, Y. and S. Yamane (1974) Host records and bionomics of *Melittobia japonica* Masi (Hymenoptera, Eulophidae). *Bull. Tohoku Natl. Agric. Exp. Stn.*, (47): 115–131.
- Maeta, Y. and E. Katayama (1978) Life history and nesting habits of a small carpenter bee, *Ceratina megastigmata* (Hymenoptera, Anthophoridae). *Bull. Tohoku Natl. Agric. Exp. Stn.*, (58): 231–260.
- Maeta, Y. and N. Sugiura (1990) Decision-making in a mason bee, *Osmia cornifrons* (Radoszkowski) (Hymenoptera, Megachilidae): Does the mother bee fertilize her eggs depending on their sizes? *Jpn. J. Ent.*, **58**: 197–203.
- Maeta, Y. and R. P. Macfarlane (1993) Japanese Conopidae (Diptera); their overall distribution, and role as parasites of bumble bees (Hymenoptera, Apidae). *Jpn. J. Ent.*, **61**: 493–509.
- Maeta, Y. and S. F. Sakagami (1995) Oophagy and egg replacement in artificially induced colonies of a basically solitary bee, *Ceratina (Ceratinidia) okinawana* (Hymenoptera, Anthophoridae, Xylocopinae), with a comparison of behavior among *Ceratina*, *Xylocopa* and the halictine bees. *Jpn. J. Ent.*, **63**: 347–375.
- Maeta, Y. and K. Kitamura (2003) Host record and some bionomical notes on the bethylid wasp, *Sclerodermus* sp. (Hymenoptera, Bethyridae). *Jpn. J. syst. Ent.*, **9**: 263–265.
- Maeta, Y. and K. Kitamura (2005) On the number of eggs laid by one individual of females in the alfalfa leaf-cutting bee, *Megachile (Eutricharaea) rotundata* (Fabricius) (Hymenoptera, Megachilidae). *Chugoku Kontyu*, (19): 39–43.
- Maeta, Y. and Y. Sasaki (2005) Notes on the bionomics of a cleptoparasitic blister beetle, *Zonitis japonicus* Pic (Coleoptera, Meloidae). *Chugoku Kontyu*, (18): 23–51.
- Maeta, Y. and Y. Sasaki (2014) Life cycle pattern and nest architecture of a eusocial halictine bee, *Lasioglossum (Evylaeus) baleicum* (Cockerell) in northern Honshu, Japan (Hymenoptera, Halictidae). *Bull. Hoshizaki Green Found.*, (17): 105–127.
- Maeta, Y. and Y. Sasaki (2018) Diurnal activity of *Megachile rotundata* in the greenhouse and field, with comparison of the pollination ability among megachilid bee species in alfalfa (Hymenoptera, Megachilidae). *Bull. Hoshizaki Green Found.*, (21): 219–229.
- Maeta, Y. and Y. Okajima (2008) Relationship between time required for oviposition and sex determination in *Ceratina (Ceratinidia) okinawana* Matsumura et Uchida (Hymenoptera, Apidae, Xylocopinae). *Chugoku Kontyu*, (22): 23–31.
- Maeta, Y. and Y. Okajima (2010a) In-nest behaviors and caste differentiation in artificially induced heterogeneous colonies founded by *Ceratina okinawana* and *Ceratina nigrolateralis* (Hymenoptera, Apidae, Xylocopinae). *Chugoku Kontyu*, (24): 5–22.
- Maeta, Y. and Y. Okajima (2010b) Task allocation and inhibition of workerlike bees' ovaries by queenlike bees in colonies of *Ceratina (Ceratinidia) nigrolateralis* Cockerell, with a comparison of ovarian inhibition among four consubgeneric species (Hymenoptera, Apidae, Xylocopinae). *Chugoku Kontyu*, (24): 49–68.
- Maeta, Y. and S. F. Sakagami (2011) Nesting biology of communal nests of the nomiine bee, *Lipotriches (Lipotriches) yasumatsui* (Hirashima) in northern Honshu, Japan (Hymenoptera, Halictidae,

- Nomiinae). *Chugoku Kontyu*, (25): 33–56.
- Maeta, Y. and A. Yoshida (2013) Nesting biology and social structure of a small carpenter bee, *Ceratina* (*Ceratina*) *megastigmata* (Hymenoptera, Apidae) in south-western Honshu, Japan. *Bull. Hoshizaki Green Found.*, (16): 51–77.
- Maeta, Y. and K. Gôukon (2014) Reconfirmation of the mating period in two univoltine species of small carpenter bees, *Ceratina flavipes* and *Ceratina japonica* (Hymenoptera, Apidae, Xylocopinae). *New Entomol.*, **63**: 1–5.
- Maeta, Y. and K. Gôukon (2017) In search of the right host record of cleptoparasitic bee, *Coelioxys sakamotoi* Nagse (Hymenoptera, Megachilidae). *Chugoku Kontyu*, (30): 45–56.
- Maeta, Y. and R. Miyanaga (2020) Artificial induction of prepupal diapause in a partially bivoltine bee, *Megachile rotundata* (Fabricius) (Hymenoptera, Megachilidae). *Bull. Hoshizaki Green Found.*, (23): 181–208.
- Maeta, Y. and M. Hiasa (2021) In-nest behaviors and cast differentiation of artificially induced heterogeneous colonies founded by two consubgeneric species, *Ceratina* (*Ceratinidia*) *okinawana* and *C. (C.) japonica* (Hymenoptera, Apidae, Xylocopinae). *Bull. Hoshizaki Green Found.*, (24): 195–212.
- Maeta, Y. and K. Hyodo (2021) In-nest behaviors and social structure of the two bivoltine small carpenter bees, *Ceratina* (*Ceratina*) *iwatai* Yasumatsu and *C. (C.) satoi* Yasumatsu (Hymenoptera, Apidae, Xylocopinae). *Bull. Hoshizaki Green Found.*, (24): 213–248.
- Maeta, Y., S. F. Sakagami and M. Shiokwa (1985) Observation on a nest aggregation of the Taiwanese bamboo carpenter bee *Xylocopa* (*Biluna*) *tranquebarorum tranquebarorum* (Hymenoptera, Anthophoridae). *J. Kansas entomol. Soc.*, **58**: 36–41.
- Maeta, Y., N. Sugiura and M. Goubara (1992) Patterns of offspring and sex allocation in the small carpenter bee, *Ceratina flavipes* Smith (Hymenoptera, Xylocopinae). *Jpn. J. Ent.*, **60**: 175–190.
- Maeta, Y., Md. A. Hannan and R. Miyanaga (2004) Nest architecture of *Megachile yaeyamaensis* Yasumatsu et Hirashima (Hymenoptera, Megachilidae). *Chugoku Kontyu*, (17): 35–38.
- Maeta, Y., Md. A. Hannan and R. Miyanaga (2006) Additional notes on the nesting habits of *Megachile yaeyamaensis* Yasumatsu et Hirashima (Hymenoptera, Megachilidae). *New Entomol.*, **55**: 1–8.
- Maeta, Y., M. Fujiwara and T. Konno (2006) Host record of *Bombylius major* Linnaeus in western Japan (Hymenoptera, Bombyliidae). *Chugoku Kontyu*, (20): 18.
- Maeta, Y., R. Miyanaga and Y. Ishii (2009) New records of the distribution and host of *Anthrax ayglus* Fabricius from Iriomote Island, southernmost archipelago of Japan (Diptera, Bombyliidae). *Bull. Hoshizaki Green Found.*, (12): 18.
- Maeta, Y., S. Hirokawa and R. Miyanaga (2009) The role of handicapped juveniles for founding multifemale nests in basically solitary small carpenter bees, *Ceratina* (*Ceratinidia*) *okinawana* Matsumura et Uchida (Hymenoptera, Apidae, Xylocopinae). *Chugoku Kontyu*, (23): 23–45.
- Maeta, Y., S. W. T. Batra and S. F. Sakagami (2010) In-nest behaviors and artificially induced sociality of the tropical Asian basically solitary bee, *Ceratina* (*Pithitis*) *smaragdula* Fabricius, with notes on the nest architecture and other bionomic matters (Hymenoptera, Apidae, Xylocopinae). *Chugoku Kontyu*, (24): 23–48.
- Maeta, Y., A. Yoshida and Y. Sasaki (2013) Biomimics and complex social structure of *Lasioglossum* (*Evyllaenus*) *affine* in southwestern Japan (Hymenoptera, Halictidae). *Bull. Hoshizaki Green Found.*, (16): 13–50.
- Maeta, Y., K. Gôukon and R. Miyanaga (2015) Revised species names of Japanese cleptoparasitic bees and their hosts, with additional new host records (Hymenoptera: Apoidea). *Jpn. J. syst. Ent.*, **21**: 299–303.
- Maeta, Y., R. Miyanaga and Md. A. Hannan (2016) Comparison of nest architecture of *Megachile* (*Chelostomoda*) *spissula*, occurring in subtropical and temperate zones in Japan (Hymenoptera, Megachilidae). *Chugoku Kontyu*, (29): 7–15.
- Maeta, Y., E. Chiappa T. and K. Tazima (2021) Flexible sociality in a basically solitary small carpenter bee, *Ceratina okinawana* (Hymenoptera, Apidae, Xylocopinae). *Bull. Hoshizaki Green Found.*, (24): 249–259.
- Maeta, Y., K. Saito, K. Hyodo and S. F. Sakagami (1993) Diapause and non-delayed eusociality in a univoltine and basically solitary bee, *Ceratina japonica*

- (Hymenoptera, Anthophoridae). I. Diapause termination by cooling and application of juvenile hormone analog. *Jpn. J. Ent.*, **61**: 203–211.
- Maeta, Y., R. Miyanaga, N. Sugiura and Shen-shau Lu (1996) Additional notes on the nesting habits of the Taiwanese bamboo carpenter bee, *Xylocopa (Biluna) tranquebarorum tranquebarorum* (Hymenoptera, Anthophoridae). *Jpn. J. Ent.*, **64**: 669–680.
- Maeta, Y., K. Gôukon, N. Sugiura and R. Miyanaga (1996) Host records of cleptoparasitic bees in Japan (Hymenoptera, Apoidea). *Jpn. J. Ent.*, **64**: 830–842.
- Maeta, Y., T. Yamaguchi, M. Goubara and K. Gôukon (1997) The unusual nest of a leaf-cutting bee, *Megachile igniscopata* Cockerell from the Iriomote Island, southernmost Japan (Hymenoptera, Megachilidae). *Jpn. J. Ent.*, **65**: 1–6.
- Maeta, Y., S. Yoshida, S. Gotô and K. Kitaumura (2005) Relationship between seed yield of Chinese milk vetch and density of female bees, *Osmia cornifrons* (Radoszkowski) (Hymenoptera, Megachilidae). *Chugoku Kontyu*, (19): 45–61.
- Maeta, Y., K. Nakanishi, K. Fujii and K. Kitamura (2006) Exploitation of systems to use a univoltine Japanese mason bee, *Osmia cornifrons* (Radoszkowski), throughout the year for pollination of greenhouse crops (Hymenoptera, Megachilidae). *Chugoku Kontyu*, (20): 1–17.
- Maeta, Y., K. Kitamura, Y. Kagino and N. Ikegami (2008) In-nest behaviors and labor economy of *Megachile (Callomegachile) sculpturalis* Smith (Hymenoptera, Megachilidae). *Chugoku Kontyu*, (22): 1–22.
- Maeta, Y., R. Miyanaga, Y. Ishii and Md. A. Hannan (2009) Comparison of the prepupal diapause in two sibling megachilid species, *Megachile (Chelostomoda) spissula* Cockerell and *Megachile (Chelostomoda) esakii* Yasumatsu, occurring in different climatic zones (Hymenoptera, Megachilidae). *Chugoku Kontyu*, (23): 7–21.
- Maeta, Y., E. Hashimoto, H. Adachi and K. Kimamura (2012) In-nest behaviors and artificially induced sociality of a small carpenter bee, *Ceratina (Neoceratina) bonninensis*, endemically occurring in Ogasawara Islands in the subtropical region of Japan (Hymenoptera, Apidae). *Chugoku Kontyu*, (26): 39–60.
- Maeta, Y., K. Gôukon, T. Ohnuma, Y. Sasaki and T. Konno (2007) Host species of the anthracine bee flies, the genus *Anthrax*, reared from trap nests (Diptera, Bombiliidae). *Jpn. J. syst. Ent.*, **13**: 91–97.
- 榎田 長 (1933) トモンハナバチ *Anthidium japonicum* Smith の生態. むし, **11**: 133–155, 2 pls.
- 榎田 長 (1940) シロスジヒゲナガハナバチ (*Eucera difficilis* Pérez) とその寄生蜂キマダラハナバチ (*Nomada japonica* Smith) の生態. 昆虫, **14**: 45–60.
- 榎田 長 (1943) アラスジヒメハナバチの生態. むし, **15**: 16–27.
- 榎田 長 (1947) 日本産ツチハンメウ科の生態. むし, **17**: 61–75, 4 pls.
- 榎田 長 (1959) ツチハンミョウ物語 (岩田久二雄・古川晴男・安松京三(編)「日本昆虫記 IV, 甲虫の生活」). 275 pp. (7–40), 講談社, 東京.
- Maruyama, K. (1953) Biological notes on *Dasygaster japonica* Cockerell (Hymenoptera). *Kontyû*, **20**: 45–48.
- 松村 雄 (2007) ハナバチ類の生態 —千本松牧場のハナバチ類調査を軸として—。那須野が原博物館紀要, (3): 1–18.
- 松村 雄 (2008) トモンハナバチの巣場所探索と保全. 昆虫と自然, **43**: 39–43.
- Matsumura, T. (1970) Nesting habits of three species of *Andrena* in Hokkaido (Hymenoptera, Apoidea). *J. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. VI, Zool.*, **17**: 520–538.
- 松村 雄・碓井正行 (1977) ヒメハナバチの1種 *Andrena (Euandrena) ruficrus rubicrus* Hirashima の巣と訪花選好性について. 東北昆虫, (15): 3–4.
- 松村 雄・中村和夫 (2002) シロスジケアシハナバチの巣の発掘. インセクト, **53**: 31–32.
- 松野翔一・尾田沙織・村尾竜起・多田内 修 (2009) エサキムカシハナバチ (ハチ目: ムカシハナバチ科) の生態学的研究. 九大大学院農学研究院学芸雑誌, **64**: 7–18.
- Matsuura, M., S. F. Sakamami and H. Fukuda (1974) A wild bee survey in Kibi (Wakayama Pref.) southern Japan. *J. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. VI, Zool.*, **19**: 422–437.
- 皆木宏明・前田泰生・北村憲二 (2000) 海浜における送粉生態系の保全に関する研究. 1. 大社砂丘における訪花昆虫の種類と季節消長. ホシザキグリーン財団研究報告, (4): 139–160.
- 宮本セツ (1958) 日本産花蜂の生態学的研究 VII. ケブカハナバチ *Anthophora acervolum villosula* Smith の行動. 生態昆虫, **7**: 60–74.

- 宮本セツ (1959a) 日本産花蜂の生態学的研究. VIII 花と花蜂類の相互関係(その1). 日生態誌, **9**: 194-199.
- 宮本セツ (1959b) 日本産花蜂の生態学的研究. IX 花と花蜂類の相互関係(その2). 日生態誌, **9**: 228-239.
- 宮本セツ (1959c) コマルハナバチおよびトラマルハナバチの働蜂の行動に見られる個性について. *Akitu*, **8**: 35-36.
- 宮本セツ (1959d) 完成をみずして崩壊した *Bombus diversus* の巣(日本産花蜂の生態学的研究 XI). *Akitu*, **8**: 85-90.
- 宮本セツ (1960a) ヒメハナバチ科 14 種の訪花性(日本産花蜂の生態学的研究 XIV). 昆虫, **28**: 65-86.
- 宮本セツ (1960b) *Colletes*, *Hylaeus*, および *Epeolus* 属花蜂の訪花性について(日本産花蜂の生態学的研究 XV). 昆虫, **28**: 123-130.
- 宮本セツ (1960c) 労働寄生性 *Nomada* 属花蜂の訪花性(日本産花蜂の生態学的研究 XVI). 昆虫, **28**: 153-164.
- 宮本セツ (1960d) ケブカハナバチ属 2 種の訪花性(日本産花蜂の生態学的研究 XVII). *Akitu*, **9**: 53-58.
- 宮本セツ (1960e) *Eucera sociabilis* Smith の訪花性(日本産花蜂の生態学的研究 XVIII). *Akitu*, **9**: 59-61.
- 宮本セツ (1960f) コハナバチ科花蜂 11 種の訪花性(日本産花蜂の生態学的研究 XXI). 生態昆虫, **8**: 120-137.
- 宮本セツ (1961a) *Xylocopa appendiculata circumvolans* Smith の訪花性(日本産花蜂の生態学的研究 XXIII). 昆虫, **29**: 4-13.
- 宮本セツ (1961b) *Ceratina japonica* Cockerell の花訪性(日本産花蜂の生態学的研究 XXIV). 昆虫, **29**: 28-35.
- 宮本セツ (1961c) マルハナバチ類の訪花性(日本産花蜂の生態学的研究 XIX). 応動昆, **5**: 28-39.
- 宮本セツ (1961d) *Tetralonia* 属花蜂類の訪花性(日本産花蜂の生態学的研究 XXII). 生態昆虫, **9**: 1-8.
- 宮本セツ (1961e) *Megachile* 属花蜂の訪花性(日本産花蜂の生態学的研究 XX). 応動昆, **5**: 92-97.
- 宮本セツ (1963a) *Bombus ignitus* Smith の巣. 昆虫, **28**: 27-32.
- 宮本セツ (1963b) *Bombus ignitus* Smith の生態. 昆虫, **31**: 91-98.
- 宮本セツ (1964) *Megachile* 属 2 種の営巣習性に関する知見. 昆虫, **32**: 189-196.
- Miyamoto, S. (1957a) Biological studies on Japanese bees. IV Behavior study on *Bombus ardens* Smith in early stage of nesting. *Sci. Rep. Hyogo Univ. Agric.*, **3**: 1-5.
- Miyamoto, S. (1957b) Biological studies on Japanese bees. V Behavior study on *Bombus ardens* Smith in developing stage of nest. *Sci. Rep. Hyogo Univ. Agric.*, **3**: 6-11.
- Miyamoto, S. (1957c) Biological studies on Japanese bees. VI Observation of nest of *Bombus ardens* Smith. *Sci. Rep. Hyogo Univ. Agric.*, **3**: 12-14.
- Miyamoto, S. (1959) Biological studies on Japanese bees. XII. Flower relationships of five species of bees belonging to the genus *Osmia* (Hymenoptera, Megachilidae). *Sci. Rep. Hyogo Univ. Agric.*, **4**: 35-40.
- Miyamoto, S. (1960) Observation on the behavior of *Bombus diversus* Smith (Biological studies on Japanese bees XIII). *Ins. Soc.*, **7**: 39-56.
- Miyamoto, S. (1962) Outline of flower relationship of Japanese bees. *Acta Hym.*, **1**: 393-455.
- 宮永龍一・前田泰生・北村憲二 (2002) 単独性コハナバチにおける“社会性”の出現(杉浦直人・伊藤文紀・前田泰生(編)「ハチとアリの自然史 本能の進化」) x+318 pp. (120-134). 北大図書刊行会, 札幌.
- 宮永龍一・諸岡由起・川崎やよい・前田泰生 (2012) シロスジカタコハナバチの営巣生態と複メス巢の出現について. 昆虫(ニューシリーズ), **15**: 243-251.
- 宮永龍一・北村 舜・大對桂一・森本健太郎 (2015) 山陰地方エサキムカシハナバチの営巣生態と訪花性について. 中国昆虫, (28): 21-32.
- 宮永龍一・石田善彦・北条竜也・吉田紗希・Adhikari, R. D. (2014) 鳥取砂丘のハマゴウ群落におけるキヌゲハキリバチの花資源利用様式. 中国昆虫, (27): 27-39.
- Miyanaga, R. and Y. Maeta (2008) A newly found nesting site of *Megachile rixator sakishimana* Yasumatsu et Hirashima in Iriomote Island, southernmost archipelago, Japan (Hymenoptera, Megachilidae). *New Entomol.*, **57**: 1-4.
- Miyanaga, R., Y. Maeta and G. Mizuta (1998) Discovery of social nests in a bivoltine, basically solitary halictine bee, *Lasioglossum (Lasioglossum) mutilum* (Vachal) (Hymenoptera, Halictidae). *Ent. Sci.*, **1**: 165-169.

- Miyanaga, R., Y. Maeta and S. F. Sakagami (1999) Geographical variation of sociality and size-linked color patterns in *Lasioglossum (Evylaeus) apristum* (Vachal) in Japan (Hymenoptera, Halictidae). *Ins. Soc.*, **46**: 224–232.
- Miyanaga, R., Y. Maeta and K. Hoshikawa (2000) Nesting biology and occurrence of social nests in a bivoltine and basically solitary bee halictine bee, *Lasioglossum (Lasioglossum) scitulium* Smith (Hymenoptera: Halictidae). *Ent. Sci.*, **3**: 291–302.
- Miyanaga, R., Y. Maeta and Md. A. Hannan (2011) Notes on the nesting biology of *Amegilla florea florea urens* (Cockerell) in Iriomote Island, southernmost archipelago of Japan (Hymenoptera, Apidae). *New Entomol.*, **60**: 35–44.
- Miyanaga, R., Y. Maeta, F. Ito and R. D. Adhikari (2017) Discovery of wood nesting by a subterranean halictine bee, *Lasioglossum (Evylaeus) vulsum* (Hymenoptera, Halictidae). *Ent. Sci.*, **20**: 156–158.
- 宮武頼夫・桜谷保之 (1988) 淀川河川敷のツチハンミョウ—その後—。 *Nature Study*, **34**: 75–78.
- Morimoto, K. and Y. Maeta (2009) A new species of *Stenoria* (Coleoptera, Meloidae) from Japan, with description of the first instar larva. *Jpn. J. syst. Ent.*, **15**: 475–480.
- 棟方明陽 (1984) 鳴川における1963年と1973年の野生ハナバチ相の変化。 *北教大紀要*, **34**: 19–39.
- 棟方明陽・菊池素臣 (1979) 静内における野生ハナバチの調査。 *生物教材*, (14): 18–31.
- 棟方明陽・工藤光信 (1981) 利尻島における野生ハナバチの調査。 *生物教材*, (14): 122–130.
- 棟方明陽・小林勝彦 (1983) 北海道教育大学木古内臨海実験所付近における野生ハナバチの生態的調査。 *生物教材*, (18): 15–26.
- 棟方明陽・田部仁志・吉岡 栄 (1987) 渡島福島におけるハナバチ類の1965年, 1978年, 1985年の比較。 *生物教材*, (22): 1–26.
- 村上協三・幾留秀一 (2011) 最近日本から発見されたツツハナバチの一種ムラカミツツハナバチ (新称) *Osmia (Pyrosmia) submicans*. *昆虫と自然*, **46**: 27–29.
- 村尾竜起・岩田眞木男 (2009) エサキコンボウハナバチの新分布地および若干の生態的知見。 *中国昆虫*, (23): 63–66.
- Murao, T. and Jason Gibbs (2019) *Halictus hedini hedini* (Hymenoptera: Halictidae) newly recorded from Japan, revealed by DNA barcoding and morphology. *J. Melittology*, (84): 1–8.
- Murao, T., S. Ikudome and O. Tadauchi (2016) *Colletes jankowskyi* (Hymenoptera: Colletidae) newly recorded from Japan, with some biological notes and DNA barcodes. *J. Melittology*, (63): 1–10.
- Murao, T., O. Tadauchi, M. Goubara and Y. Maeta (2010) Taxonomy of the carinaless group of *Lasioglossum (Evylaeus)* (Hymenoptera, Halictidae) from the Ryukyu islands, Japan, with description of seven species. *Zootaxa*, (2669): 1–33.
- 室田忠男・黒川秀吉 (2002) ミックリフシダカヒメハナバチの宿主か? *福井虫報*, (31): 17–20.
- Nagase, H. (2006) Synopsis of the genus *Coelioxys* Latreille (Hymenoptera: Megachilidae) of Japan, with description of a new species. *Ent. Sci.*, **9**: 223–238.
- 中村和夫 (2006) シロスジフデアシハナバチの日周活動。 *昆虫ト*, **57**: 25–34.
- 中村和夫・松村 雄 (1985) 栃木県奥日光における野生ハナバチの調査。 *宇都宮大教養部研報*, Sec. 2, (18): 19–39.
- 中村和夫・松村 雄 (2005) 栃木県でのシロスジフデアシハナバチの活動と訪花性。 *昆虫ト*, **56**: 47–54.
- 中村慎吾 (1985) キロスズメバチの廃棄巣に作られたハキリバチの巣。 *比婆科学*, (129): 1–4.
- 中村慎吾・進藤眞基・森長幸雄 (2015) クズハキリバチがキイロスズメバチの廃棄巣内へ集団営巣。 *比婆科学*, (255): 7–14.
- 根来 尚 (1980a) 日本産ツヤハナバチ (*Ceratina*) 属の生態。 I. 金沢大学構内における *Ceratina* 属3種の生態。 *日生態会誌*, **30**: 259–265.
- 根来 尚 (1980b) 日本産ツヤハナバチ (*Ceratina*) 属の生態。 II. 石川県内における3種の生態。 *日生態会誌*, **30**: 267–272.
- 根来 尚 (1981) 日本産ツヤハナバチ (*Ceratina*) 属の生態。 III. *C. okinawana* Matsumura et Uchida および *C. satoi* Yasumatsu の営巣習性。 *富山文化センター研報*, (3): 39–45.
- 根来 尚 (1983a) 日本産ツヤハナバチ (*Ceratina*) 属の生態。 IV. 青森県における4種の営巣場所。 *富山文化センター研報*, (5): 15–17.
- 根来 尚 (1983b) 日本産ツヤハナバチ (*Ceratina*) 属の生態。 V. *C. esakii* Yasumatsu et Hirashima の営巣習性。 *富山文化センター研報*, (5): 19–22.

- 根来 尚 (1986) エサキミツバチモドキの営巣に関する一観察. 蜂友通信, (24):1-2.
- 根来 尚 (1993) 呉羽丘陵におけるハナバチ相の生態的調査. 富山文化センター研報, (16):31-41.
- 根来 尚 (1995) 呉羽丘陵におけるハナバチ相の生態的調査 (II). 富山文化センター研報, (18):5-17.
- 根来 尚 (1997) 庄川町庄川河川敷におけるハナバチ相の生態的調査. 富山文化センター研報, (20):19-27.
- 根来 尚 (1999a) 立山高山帯におけるハナバチ相の生態的調査. 富山文化センター研報, (22):81-96.
- 根来 尚 (1999b) 金沢城内 (旧金沢大学構内) におけるハナバチ類の訪花性. 富山文化センター研報, (22):55-79.
- 根来 尚 (2000) 立山亜高山域亜弥陀ヶ原におけるハナバチ相の生態的調査. 富山分化センター研報, (23):127-139.
- 根来 尚 (2001a) 富山県氷見市島尾海岸におけるハナバチ相の生態調査. 富山文化センター研報, (24):43-51.
- 根来 尚 (2001b) 富山県小矢部市の農耕地および大門町庄川河川敷におけるハナバチ相の生態的調査. 富山文化センター研報, (24):53-65.
- 根来 尚 (2002a) 富山県低山帯 (福光町医王山・立山町千寿が原・宇名月祖母谷) におけるハナバチ相の生態的調査. 富山文化センター研報, (25):1-21.
- 根来 尚 (2002b) 立山高山帯室堂周辺における訪花昆虫調査. 富山文化センター研報, (25):23-39.
- 根来 尚 (2003a) 富山県高山地帯におけるハナバチ相の生態的調査. 富山文化センター研報, (26):51-71.
- 根来 尚 (2003b) 立山高山帯における訪花昆虫調査への追加. 富山分化センター研報, (26):73-101.
- 根来 尚 (2004a) 立山亜高山帯弥陀ヶ原高原における訪花昆虫調査. 富山分化センター研報, (27):31-44.
- 根来 尚 (2004b) 日本産ツヤハナバチ (*Ceratina*) 属 (ハナバチ上科, 膜翅目) の生態学的ノート. I 富山県猿倉山での *C. iwatai* と *C. satoi* の営巣比較. 富山文化センター研報, (27):45-48.
- 根来 尚 (2004c) 日本産ツヤハナバチ (*Ceratina*) 属 (ハナバチ上科, 膜翅目) の生態学的ノート. II ツヤハナバチ3種 (*C. flavipes*, *C. iwatai*, *C. megastigmata*) の営巣枝髄径. 富山文化センター研報, (27):49-51.
- 根来 尚 (2008a) 氷見市島尾海岸の訪花昆虫調査. 富山市科博館研報, (31):73-83.
- 根来 尚 (2008b) 小矢部市内の農耕地での訪花昆虫調査. 富山市科博館研報, (31):59-71.
- 根来 尚 (2009) 高岡市古城公園での訪花昆虫調査, および富山県内11ヵ所での調査結果比較. 富山市科博館研報, (32):39-60.
- 根来 尚 (2012a) 富山県内4ヵ所での訪花昆虫追加調査結果. 富山市科博館研報, (35):29-48.
- 根来 尚 (2012b) 富山県におけるハナバチ類の訪花記録. 富山市科博館研報, (36):55-128.
- 野坂千津子 (1997) シロスジフデアシハナバチの営巣地確認. 福井虫報, (21):3-4.
- 野坂千津子 (1999) シロスジフデアシハナバチの観察. 福井虫報, (24):33-38.
- Ochiai, H. and E. Katayama (1982) Supplementary notes on nests of some Japanese bumblebees. I. *Bombus honshuensis*. *Kontyû*, **50**:283-300.
- 岡部浩洋 (1937) *Megachile kobensis* Cockerell キヌゲハキリバチの寄生蜂. むし, **12**:40.
- Okabe, K. and S. Makino (2005) Mite faunas and morphology of acarinarium on Japanese and Taiwanese large carpenter bees (Hymenoptera: Apidae). *J. Acarol. Soc. Jpn.*, **14**:105-115.
- Okabe, K., H. Masuya, K. Kawazoe and S. Makino (2010) Invasion pathway and potential risks of a bamboo-nesting carpenter bee, *Xylocopa tranquebarorum* (Hymenoptera: Apidae), and its micro-associated mite introduced into Japan. *Appl. Entomol. Zool.*, **45**:329-337.
- 岡本素治 (2011) ヒラズゲンセイの配偶システムの観察と生活史ノート. 昆虫 (ニューシリーズ), **14**:263-275.
- 岡本素治 (2016) ヒラズゲンセイの生活史 (1) ~羽化から1齢幼虫の花上待機まで~ *Nature Study*, **62**:102-130.
- Okazaki, K. (1987) Life cycle of a subtropical xylocopine bee, *Ceratina okinawana*, with some related problems. *Kontyû*, **55**:1-8.
- 奥村忠男 (1964) ミツクリフシダカヒメハナバチの習性. 生物研究, **8**:53-57.
- 奥野 宏 (1976) ウツギヒメハナバチの観察. 蜂友通信, (3):4-8.
- 小野正人・和田哲夫 (1996) マルハナバチの世界—その生物学的基礎と応用—. v+132 pp. 日本植物防疫協会, 東京.
- Oohata, J., K. Minagi and Y. Maeta (2010) Some

- bionomical notes on newly discovered blister beetle, *Stenoria oohatai* Moriimoto et Maeta from Japan (Coleoptera, Meloidae, Nemognathiane). *Bull. Shimane Nat. Mus. Mt. Sanbe (Sahimel)*, (8): 13-15.
- 大沼匡之 (1989) 竹筒に営巣したクマバチ. 越佐昆虫同好会々報, (68): 2.
- 大沼匡之 (1995) トモンハナバチのガラス管営巣. 越佐昆虫同好会々報, (75): 48-50.
- 齋藤法子・山根爽一・松村 雄 (1992) 茨木大学水戸キャンパスにおける野生ハナバチの季節消長と花選択性. 茨城大教育学部紀要, (41): 153-172.
- 坂上昭一 (1992) ハチの家族と社会 カースト社会の母と娘. iii + 210 pp. 中公新書 1098. 中央公論社, 東京.
- 坂上昭一 (1993) 社会性ハナバチとの40年 (井上民二・山根爽一 (編) 「昆虫の社会進化ハチの比較社会学」). vii + 532 pp. (459-497). 博品社, 東京.
- 坂上昭一・栗林 慧 (1979a) コハナバチ 1—ホクダイコハナバチの生活. アニマ, 77: 44-53.
- 坂上昭一・栗林 慧 (1979b) コハナバチ 2—コハナバチたちへの招待. アニマ, 78: 81-92.
- 坂上昭一・栗林 慧 (1979c) コハナバチ 3—セミソシアルなコハナバチたち. アニマ, 79: 54-59.
- 坂上昭一・前田泰生 (1983) 孤独と集団の岐路—ツヤハナバチの生活. 科学と実験, 34: 18-24.
- 坂上昭一・前田泰生 (1985) ツヤハナバチにみられる社会性の芽ばえ. サイエンス, 15: 36-46.
- 坂上昭一・前田泰生 (1986) 独居から不平等へ—ツヤハナバチとその仲間の生活. viii + 264 pp. 東海大学出版会, 東京.
- 坂上昭一・福田弘己・川野 博 (1974) 野生ハナバチ相調査の問題点と方法—藻岩山における調査結果. 生物教材, 9: 1-60.
- Sakagami, S. F. (1974) Sozialstruktur und Polymorphismus bei Fruchen- und Schmalbienen (Halictidae). In Schmidt, G. H. (ed.), *Sozialpolymorphismus bei Insekten*. 481 pp. (257-297), Wissensch. Verlagsgesell. Stuttgart.
- Sakagami, S. F. (1976) Specific differences in the biogenic characters of bumblebees. A comparative review. *J. Fac. Sci., Hokkaido Univ. Ser. VI, Zool.*, 20: 390-447.
- Sakagami, S. F. (1980) Bionomics of the halictine bees in northern Japan. I. *Halictus (Halictus) tsingtouensis* (Hymenoptera, Halictidae), with notes on the number of origins of eusociality. *Kontyû*, 48: 526-536.
- Sakagami, S. F. (1988) Bionomics of the halictine bees in northern Japan. IV. *Lasioglossum (Evyaleus) nupricola* sp. nov.. a climatic relic. *Kontyû*, 56: 337-353.
- Sakagami, S. F. and K. Hayashida (1958) Biology of the primitive social bee, *Halictus duplex* Dalla Torre. I. Preliminary report on the general life history. *Annot. Zool. Jpn.*, 31: 151-155.
- Sakagami, S. F. and K. Hayashida (1960a) Biology of the primitive social bee, *Halictus duplex* Dalla Torre. II. Nest structure and immature stages. *Ins. Soc.*, 7: 57-98.
- Sakagami, S. F. and K. Hayashida (1960b) Biology of the primitive social bee, *Halictus duplex* Dalla Torre. III. Activity in spring solitary phase. *J. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV, Zool.*, 14: 639-682.
- Sakagami, S. F. and K. Hayashida (1968) Bionomics and sociality of the summer matrifilial phase in the social halictine bee, *Lasioglossum duplex*. *J. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. VI, Zool.*, 16: 413-513.
- Sakagami, S. F. and K. Fukushima (1961) Female dimorphism in a social halictine bee, *Halictus (Seladonia) aerarius* Smith (Hymenoptera, Apoidea). *Jpn. J. Ecol.*, 11: 118-124.
- Sakagami, S. F. and M. Munakata (1966) Bionomics of a Japanese halictine bee, *Lasioglossum pllidulum* (Hymenoptera, Apoidea). *J. Kansas Entomol. Soc.*, 39: 370-379.
- Sakagami, S. F. and M. Munakata (1972) Distribution and bionomics of a Transpalae arctic eusocial halictine bee, *Lasioglossum (Evyaleus) calceatum* in northern Japan, with reference to its solitary life cycle at high altitude. *J. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Zool.*, 18: 411-439.
- Sakagami, S. F. and T. Matsumura (1967) Relative abundance, phenology and flower preference of andrenid bees in Sapporo, north Japan (Hymenoptera, Apoidea). *Jap. J. Ecol.*, 17: 237-250.
- Sakagami, S. F. and H. Fukuda (1972) Life of a Japanese eusocial halictine bee, *Lasioglossum duplex*, out of brood rearing season (Hymenoptera, Halictidae). *Ins. Soc.*, 19: 137-152.
- Sakagami, S. F. and H. Fukuda (1973) Wild bee survey at campus of Hokkaido University. *J. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. VI, Zool.*, 19: 190-250.
- Sakagami, S. F. and H. Fukuda (1989) Nest founding and nest survival in a eusocial halictine bee, *Lasioglossum*

- duplex*: Additional observations. *Res. Popul. Ecol.*, **31**: 139–151.
- Sakagami, S. F. and Y. Nishijima (1973) Two heterospecific colonies founded in Japanese bumblebees, *Bombus shrencki* and *B. pseudobaicalensis* (Hymenoptera, Apidae). *Bull. Obihiro Zotech. Univ., Ser. I*, **7**: 628–631.
- Sakagami, S. F. and M. Usui (1976) Occurrence of communal nests in *Eucera sociabilis* (Hymenoptera, Anthophoridae). *Kontyû*, **44**: 354–357.
- Sakagami, S. F. and E. Katayama (1977) Nests of some Japanese bumblebees (Hymenoptera, Apidae). *J. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. VI, Zool.*, **21**: 92–153.
- Sakagami, S. F. and P. A. Ebmer (1979) *Halictus (Seladonia) tumulorum higashi* spp. nov. from the Northeastern Palaearctics (Hymenoptera, Apoidea, Halictidae). *Kontyû*, **47**: 543–549.
- Sakagami, S. F. and Y. Maeta (1977) Some presumably presocial habits of Japanese *Ceratina* bees, with notes on various social types in Hymenoptera. *Ins. Soc.*, **24**: 319–343.
- Sakagami, S. F. and Y. Maeta (1982) Further experiments on the artificial induction of multi-female associations in the principally solitary bee genus *Ceratina* (In Breed, et al. (eds.), *The Biology of Social Insects*). xii + 419 pp. (171–174). Westview Press, Boulder, Colorado.
- Sakagami, S. F. and Y. Maeta (1984) Multifemale nests and rudimentary castes in normally solitary bee *Ceratina japonica* (Hymenoptera, Xylocopinae). *J. Kansas Ent. Soc.*, **57**: 639–656.
- Sakagami, S. F. and Y. Maeta (1985) Multifemale nests and rudimentary castes in the normally solitary bee *Ceratina japonica* (Hymenoptera: Xylocopinae). *J. Kansas entomol. Soc.*, **57**: 639–656.
- Sakagami, S. F. and Y. Maeta (1987a) Multifemale nests and rudimentary castes of an “almost” solitary bee *Ceratina flavipes*. with additional observations on multifemale nests of *Ceratina japonica* (Hymenoptera, Apoidea). *Jpn. J. Ent.*, **55**: 391–409.
- Sakagami, S. F. and Y. Maeta (1987b) Sociality, induced and/or natural, in the basically solitary bees (*Ceratina*) (In Ito, Y. et al. (eds.), *Animal Societies: Theories and Facts*). xvi + 291pp. (1–6). Japan Sci. Press, Tokyo.
- Sakagami, S. F. and Y. Maeta (1989) Compatibility and incompatibility of solitary life with eusociality in two normally solitary bees *Ceratina japonica* and *Ceratina okinawana* (Hymenoptera, Apoidea), with notes on the incipient phase of eusociality. *Jpn. J. Ent.*, **57**: 417–439.
- Sakagami, S. F. and Y. Maeta (1995) Task allocation in artificially induced colonies of a basically solitary bee *Ceratina (Ceratinidia) okinawana*, with a comparison of sociality between *Ceratina* and *Xylocopa* (Hymenoptera, Anthophoridae, Xylocopinae). *Jpn. J. Ent.*, **63**: 115–150.
- Sakagami, S. F., Y. Hirashima and Y. Ohé (1966) Bionomics of two Japanese bees (Hymenoptera, Apoidea). *J. Fac. Agric., Kyushu Univ.*, **13**: 673–703.
- Sakagami, S. F., K. Hoshikawa and H. Fukuda (1984) Overwintering ecology of two social halictine bees *Lasioglossum duplex* and *L. problematicum*. *Res. Popul. Ecol.*, **26**: 363–378.
- Sakagami, S. F., T. Matsumura and Y. Maeta (1985) Bionomics of the halictine bees in northern Japan III. *Lasioglossum (Evylaeus) allodalum*, with remarks on the serially arranged cells in the halictine nests. *Kontyû*, **53**: 409–419.
- Sakagami, S. F., R. Miyanaga and Y. Maeta (1994) Discovery of eusocial halictine bee, *Lasioglossum (Evylaeus) subtropicum* sp. nov. from Irimote Is., southernmost Japan, with a morphometric comparison of castes in some social halictines (Hymenoptera, Halictidae). *Bull. Fac. Agr., Shimane Univ.*, (28): 5–21.
- Sakagami, S. F., A. W. Ebmer, T. Matsumura and Y. Maeta (1982) Bionomics of the halictine bees in northern Japan. II. *Lasioglossum (Evylaeus) sakagamii* (Hymenoptera, Apoidea, Halictidae), with taxonomic notes on allied species. *Kontyû*, **50**: 198–211.
- Sakagami, S. F., Y. Hirashima, Y. Maeta and T. Matsumura (1982) Bionomic notes in the social halictine bee *Lasioglossum affine* (Hymenoptera, Halictidae). *Esakia*, (19): 161–176.
- Sakagami, S. F., Y. Maeta, K. Nagamori and K. Saito (1993) Diapause and non-delayed eusociality in a univoltine and basically solitary bee, *Ceratina japonica* (Hymenoptera, Anthophoridae). II Non-delayed eusociality induced by juvenile hormone analog treatment. *Jpn. J. Ent.*, **61**: 443–457.

- 佐々木陽一 (1980) オオハキリバチの交尾戦略—雄はどのようにして雌を獲得するか (水口憲哉・植松辰美 (代表)「無名のものたちの世界 III」). 230 pp. (40-70), 思索社, 東京.
- 佐々木陽一・前田泰生 (1994) 秋期にみられるオオハキリバチ新成虫, 中国昆虫, (8): 37-48.
- 佐々木陽一・前田泰生 (2018) オオハキリバチの日周活動と増殖. ホシザキグリーン財団研究報告, (21): 209-218.
- 佐々木陽一・前田泰生・郷右近勝夫 (2022) アカガネコハナバチ *Halictus (Seladonia) aerarius* Smith の社会性構造に関する研究. ホシザキグリーン財団研究報告, (25): 161-202.
- 柴崎篤洋 (1984) クマバチの博物誌—母と子の行動について—, 農薬, (31): 51-60.
- Svensson, B. G., Ebmer, A. W. and S. F. Sakagami (1977) *Lasioglossum (Evylyaeus) borare*, a new Halictidae (Hymenoptera, Apoidea). *Entomol. Scand.*, **8**: 219-229.
- 塩川 信 (1981a, b, c) 小さな大工蜂の世界—ツヤハナバチの仲間とその生活 (1), (2), (3). 遺伝, **35**: 80-84, 34-39, 48-53.
- Shiokawa, M. (1966) Comparative studies of two closely related allied sympatric *Ceratina* bees, *C. flavipes* and *C. japonica*. II. Nest structure, *Kontyû*, **37**: 44-51.
- Shiokawa, M. (1969) Notes on nests of *Ceratina megastigmata* Yasumatsu et Hirashima (Hymenoptera, Anthophoridae). *Kontyû*, **37**: 71-74.
- 渋谷寿夫 (1939) 蝸牛の空殻の中に営巣する *Osmia orientalis* Benoist とその敵虫イワタマルセイボウ *Chrysis (Hoplochrysis)* sp. との習性. むし, **12**: 41-55.
- Skou, J. P. (1988) Japanese species of *Ascospaera*. *Micotaxon*, **31**: 173-190.
- 庄司 敬 (1972) マメコバチ生態と増殖利用. 農及園, **47**: 1579-1584.
- 楚南仁博 (1932) 臺灣産クマバチ属 *Xylocopa* に就きて. 臺灣博物學會會報, **22**: 133-132.
- 須田博久 (1878) クズハキリバチの生態に関する研究. 千葉生物誌, (27): 119-122.
- 須田博久 (1980) キマダラハナバチの寄主に関する知見. 蜂類通信, (12): 1-10.
- 杉浦直人・三宅慎也 (1991) ヒラズゲンセイの生態的知見. 中国昆虫, (5): 1-5.
- 杉浦直人・郷原匡史 (1996) キムネクマバチの天敵. ヒラズゲンセイの生活史. インセクトラム, **33**: 238-242.
- 杉浦直人・宮永龍一・前田泰生 (1995) 花を媒体としないキュウシユウツチハンミョウ 1 齢幼虫の便乗. 中国昆虫, (9): 22-25.
- Sugirua N. (1991) Male territoriality and mating tactics in the wool-carder bee, *Anthidium septemspinum* Lepageletier (Hymenoptera, Megachilidae). *J. Ethol.*, **9**: 95-103.
- Sugiura, N. (1994) Parental investment and offspring sex ratio in a solitary bee, *Anthidium septemspinum* Lepageletier (Hymenoptera: Megachilidae). *J. Ethol.*, **12**: 131-139.
- Sugiura, N. (1995) Burrow construction by the Japanese carpenter bee, *Xylocopa appendiculata circumvolans* Smith, for overwintering (Hymenoptera: Anthophoridae). *J. Kansas Entomol. Soc.*, **68**: 116-119.
- Sugiura, N. and Y. Maeta (1989) Parental investment and offspring sex ration in a solitary mason bee, *Osmia cornifrons* (Radoszkowski) (Hymenoptera, Megachilidae). *Jpn. J. Ent.*, **57**: 861-875.
- 多田内 修・村尾竜起 (2014) 日本産ハナバチ図鑑. 479 pp. 文一出版社, 東京.
- Tadauchi, O. (1985) Synopsis of *Andrena (Micrandrena)* of Japan (Hymenoptera, Andrenidae) Part I. *J. Fac. Agr., Kyushu Univ.*, **30**: 59-76.
- Tadauchi, O. (1987) Synopsis of *Andrena (Andrena)* of Japan (Hymenoptera, Andrenidae Part I. *J. Fac. Agr., Kyushu Univ.*, **31**: 11-35.
- Tadauchi, O. and Y. Hirashima (1984) New or little known bees of Japan (Hymenoptera, Apoidea) V. Supplement of *Andrena (Hoplandrena)*. *Kontyû*, **52**: 278-285.
- 高見澤今朝雄 (2006) オオマルハナバチ *Bombus (Bombus) hypocrita hypocrita* Pérez の創設期の巣に関する知見. つねきばち, (10): 29-34.
- 高見澤今朝雄・片山栄助 (2005) アカヤマアリの襲撃を受け滅亡したウスリーマルハナバチのコロニー. *New Entomol.*, **54**: 5-9.
- 高見澤今朝雄・片山栄助 (2009) コマルハナバチ *Bombus (Pyrobombus) ardens ardens* Smith の初期巣. *New Entomol.*, **58**: 63-67.
- 高野秀男 (1987) 花蜂における雄の多型と営巣習性の関係. 昆虫と自然, **22**: 28-30.
- Takahashi, H. and S. F. Sakagami (1993) Notes on the halictine bees (Hymenoptera, Apoidea) of the Izu

- islands: *Lasioglossum kuroshio* sp. nov., life cycle of in Hachijyo-jima Is., and a preliminary list of the species in the Izu islands. *Jpn. J. Ent.*, **61**: 267-278.
- 田中栄一 (1952) ミツバチモドキ *Colletes collaris* Dours の習性について. *新昆虫*, **5**: 17-18.
- Taniguchi, S. (1955) Biological studies on the Japanese bees. II. Study on the nesting behavior of *Bombus ardens* Smith. *Sci. Rep. Hyogo Univ. Agric.*, **2**: 89-96.
- Taniguchi, S. (1956) Biological studies on the Japanese bees. III. Request in flower-visiting of infrasocial bees. *Sci. Rep. Hyogo Univ. Agric.*, **2**: 37-51.
- 田埜 正 (1964) キオビツヤハナバチ (!) *Ceratina flavipes* Smith の習性. *生物研究*, **8**: 1-6.
- 手塚俊行・前田泰生 (1993) 青森県八甲田山においてウラジロヨウラクを訪花する2種のマルハナバチの日周性. *New Entomol.*, **42**: 36-46.
- 富樫一次 (1953) *C. jankowskyi* Radoszkowski の習性. *新昆虫*, **6**: 20-21.
- 富樫一次 (1963) 花蜂類数種の営巣習性. *生物研究*, **7**: 41-42.
- 鳥潟恒雄 (1930) 蜂類生態の小観察. *むし*, **3**: 84-88.
- 鳥潟恒雄 (1931) ケブカハナバチ (新称) *Anthophora acervolum villosula* Smith に就いて. *むし*, **4**: 92-96.
- Tsuneki, K. (1970) Bionomics of some species of *Megachile*, *Dasyпода*, *Colletes* and *Bombus* (Hym. Apidae). *Echizenia*, (48): 1-20.
- 渡辺昭二 (1958) クマバチのなわばり行動. *生態昆虫*, **7**: 93.
- Uehara, Y., Y. Akahira and S. F. Sakagami (1979) A wild bee survey in Kiritappu, eastern Hokkaido. *Low Temp. Sci., Hokkaido Univ., Ser. B.*, (37): 37-57.
- Usui, M., Y. Nishijima, H. Fukuda and S. F. Sakagami (1976) A wild bee survey in Obihiro, eastern Hokkaido. *Res. Bull. Obihiro Univ.*, (10): 225-232.
- 山田雅輝 (1956) 青森県におけるマメコバチの生態. *東北昆虫*, (5): 3-4.
- 山田雅輝 (1992) 青森県のムカシハナバチ科. *げんせい*, (59/60): 15-21.
- 山田雅輝・小山信行・関田徳雄・白崎将英・津川 力 (1971) リンゴ園における天敵と益虫の保護利用に関する研究. 第3報マメコバチ *Osmia cornifrons* (Radoszkowski) の生態とリンゴ授粉への利用. *青森県りんご試報告*, (15): 1-80.
- 山本大二郎 (1944) ヒメハキリバチ (*Megachile spissula* Ckll.) の習性. *はち*, **2**: 29-34.
- 山本大二郎 (1959) シリアゲコバチの産卵 (岩田久二雄・古川晴男・安松京三 (編)「日本昆虫記, III ハチとアリの生活」). 245 pp. (55-78), 講談社, 東京.
- 山内克典・奥村一博・坂上昭一 (1976) 飛騨萩原における野生ハナバチ相の生態的調査. *岐阜大教育学部研報*, (5): 413-423.
- 山内克典・村雲芳明・小倉正治・坂上昭一 (1974) 岐阜県美並村における野生ハナバチ相の生態的調査. *岐阜大教育学部研報*, (5): 220-232.
- 安松京三 (1931) *Megachile kobensis* と *M. perfervida* Cockerell に就いて. *昆虫世界*, **35**: 150-158.
- 安松京三 (1968) *昆虫と人生*. 250 pp. 新思潮社, 東京.
- Yasumatsu, K. and Y. Hirashima (1964) Red-haired leaf-cutting bees of the group of *Megachile bicolor* from Japan, the Ryukyu and Formosa. *Kontyû*, **32**: 175-187.
- Yokoi, T. (2012) Strongly biased sex ratio in cuckoo wasp *Chrysura hirsuta* (Hymenoptera: Chrysididae), a parasitoid of the mason bee *Osmia orientalis*. *Ent. Sci.*, **15**: 250-252.
- 米山正寛 (2009) ハチが葉を切るのは何のため? 巣の材料を集めるためよ. *朝日新聞*, 2009年7月11日, p. e6.

日本産野生ハナバチ類の生態的知見の総覧

分類群	項目																	出典
	① 雌性	② 出現期・季節消長	③ 交尾行動	④ 産卵・産卵日数	⑤ 越冬態	⑥ 休眠	⑦ 幼虫性	⑧ 幼虫活動	⑨ 管巢習性・巣構造	⑩ 産卵数・増殖力	⑪ 性比	⑫ 天敵	⑬ 社会性	⑭ 営巣主	⑮ 営巣様式	⑯ 営巣率		
Colletidae ムカシハナバチ科																		
Colletinae ムカシハナバチ亜科																		
Colletini ムカシハナバチ族																		
<i>Colletes (Colletes) babai</i> Hirashina et Tadauchi, 1979 ハバムカシハナバチ																	田中 (1952); 郷右近 (1982, 2018); 楠本 (1990); Maeta <i>et al.</i> (2015)	
<i>Colletes (Colletes) collaris</i> Dours, 1872 オオムカシハナバチ																	宮本 (1960b); 前田・宮永 (1998); Goukon & Maeta (2016a, 2018)	
<i>Colletes (Colletes) esakii</i> Hirashina, 1958 エサキムカシハナバチ																	根来 (1986); 松野ほか (2009); Oshata <i>et al.</i> (2010); 宮永ほか (2015)	
<i>Colletes (Colletes) floralis</i> Eversmann, 1852 ヤスマムカシハナバチ																		
<i>Colletes (Colletes) jaankowskyi</i> Radoszkowski, 1891 *																	Murao <i>et al.</i> (2016)	
<i>Colletes (Colletes) jaedellanus</i> Perez, 1905 アンズトムカシハナバチ																	宮本 (1960b); 松村 (2007); 郷右近 (2018)	
<i>Colletes (Colletes) perforator</i> Smith, 1869 コムカシハナバチ																		
Hyalelinae メンハナバチ亜科																		
<i>Hyaleus (Hyaleus) adorigensis negorai</i> Ikudome, 2004 ネゴロメンハナバチ																		
<i>Hyaleus (Hyaleus) nobuyukii</i> Ikudome, 2013 リュウコツメンハナバチ																		
<i>Hyaleus (Hyaleus) paulus</i> Bridwell, 1919 ヒメメンハナバチ																		
<i>Hyaleus (Hyaleus) perforatus</i> (Smith, 1873) オモナガメンハナバチ																	Sakagami & Fukuda (1973)	
<i>Hyaleus (Lambdopsis) ikadae</i> (Yasumatsu, 1936) イケダメンハナバチ																		
<i>Hyaleus (Lambdopsis) maculiferus</i> Ikudome, 1989 ホソメンハナバチ																		
<i>Hyaleus (Lambdopsis) nanseiensis</i> Ikudome, 1989 ナンセイメンハナバチ																		
<i>Hyaleus (Lambdopsis) jpanbuchi</i> (Allken, 1919) ツノブトメンハナバチ																		
<i>Hyaleus (Nesoprosopis) niger</i> Bridwell, 1919 スクロメンハナバチ																		
<i>Hyaleus (Nesoprosopis) boninensis</i> Yasumatsu, 1955 オガサワラメンハナバチ																		
<i>Hyaleus (Nesoprosopis) floratis</i> (Smith, 1873) スミズメンハナバチ																		
<i>Hyaleus (Nesoprosopis) globatus</i> (Vachal, 1903) アルマンメンハナバチ																	Inoue <i>et al.</i> (1990); Kato <i>et al.</i> (1990)	
<i>Hyaleus (Nesoprosopis) insularum</i> Yasumatsu <i>et</i> Hirashima, 1965 クロシオメンハナバチ																	幾留 (2005)	
<i>Hyaleus (Nesoprosopis) insularum trionotensis</i> Yasumatsu <i>et</i> Hirashima, 1965 イリオモテメンハナバチ																		
<i>Hyaleus (Nesoprosopis) maetai</i> Ikudome, 1998 マエタメンハナバチ																	前田ほか (2010)	
<i>Hyaleus (Nesoprosopis) matsumurai</i> Bridwell, 1919 マツムラメンハナバチ																	前田ほか (2010)	
<i>Hyaleus (Nesoprosopis) noeman</i> Hirashina, 1977 ノウメンハナバチ																		
<i>Hyaleus (Nesoprosopis) pectoralis</i> Förster, 1871 ヨーロッパメンハナバチ																	郷右近 (2012)	
<i>Hyaleus (Nesoprosopis) transversalis</i> Cockerell, 1924 ニッポンメンハナバチ																		
<i>Hyaleus (Paraprosopis) hirashimai</i> Ikudome, 1989 ヒラシマイメンハナバチ																	幾留 (2005)	
<i>Hyaleus (Paraprosopis) incomitatus</i> Suelting, 1970 キムネメンハナバチ																		
<i>Hyaleus (Paraprosopis) meridiana</i> Yasumatsu <i>et</i> Hirashima, 1965 テマリメンハナバチ																		
<i>Hyaleus (Paraprosopis) managana</i> Ikudome, 2004 ムカゲメンハナバチ																		
<i>Hyaleus (Paraprosopis) yusumatsui</i> Suelting, 1970 ヤスマツメンハナバチ																		
<i>Hyaleus (Patagiana) nigrocaucata</i> Cockerell, 1924 ヒョッコメンハナバチ																		
<i>Hyaleus (Prosopeis) confusus</i> Nylander, 1852 ヤマノメンハナバチ																		
<i>Hyaleus (Prosopeis) submonticola</i> Ikudome, 1989 オモゴメンハナバチ																	Maeta & Macfarlane (1993)	

分類群	項目													出典			
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		⑭	⑮	⑯
Andrenidae ヒメハナバチ科																	
Andreninae ヒメハナバチ亜科																	
<i>Andrena (Andrena) oburensis</i> Hirashima, 1962 アブラナヒメハナバチ																	Kifune & Maeta (1990)
<i>Andrena (Andrena) alba</i> Tadauchi, Hirashima et Matsumura, 1987 アイタビヒメハナバチ											○						
<i>Andrena (Andrena) babai</i> Tadauchi et Hirashima, 1987 ババヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Andrena) borealis</i> Hirashima, 1962 ウズキヒメハナバチ		○	○														Sakagami & Matsumura (1967); Kifune & Hirashima (1985)
<i>Andrena (Andrena) brevipennis</i> Hirashima, 1962 アトヒアラシヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Andrena) eskii</i> Hirashima, 1957 エスキヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Andrena) hondoica</i> Hirashima, 1962 カオジロヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Andrena) ishizawa</i> Hirashima, 1953 イシハラヒメハナバチ	○																Tadauchi (1987); 多田内・村尾 (編) (2014)
<i>Andrena (Andrena) katagiri</i> Tadauchi et Gombara, 2011 カタクリヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Andrena) lapponica shirozua</i> Hirashima, 1962 シロウズヒメハナバチ											○						Kifune & Hirashima (1985)
<i>Andrena (Andrena) longitarsis</i> Hirashima, 1962 スネナガヒメハナバチ		○	○														幾留 (1980); Kifune & Hirashima (1985)
<i>Andrena (Andrena) mali</i> Tadauchi et Hirashima, 1987 マリンゴヒメハナバチ																	Kifune & Hirashima (1985)
<i>Andrena (Andrena) maikensis</i> Matsumura, 1911 ヤマメヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Andrena) mikado</i> Strand et Yasumitsu, 1938 ミカドヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Andrena) navoi</i> Cockerell, 1913 ナポリヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Andrena) sakagami</i> Tadauchi, Hirashima et Matsumura, 1987 サカガミヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Andrena) saragaminensis</i> Hirashima, 1962 サラガミヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Chalchilissa) amamiensis</i> Hirashima, 1960 アマミヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Chalchilissa) prestomatia</i> Pérez, 1905 ウツギヒメハナバチ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	宮本 (1960a); 川村 (1961); 奥野 (1976); 幾留 (1980); 前田 (2000)
<i>Andrena (Chalchilissa) tsukubana</i> Hirashima, 1967 コガタウツギヒメハナバチ																	宮本 (1960a); 幾留 (1980); 前田 (2000); 郷石正・前田 (2022)
<i>Andrena (Chlorandrena) knuthi</i> Alfken, 1900 キナヒメハナバチ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	宮本 (1960a); Hirashima (1962); Maeta et al. (1996); 幾留 (1980)
<i>Andrena (Chlorandrena) okuwaena</i> Matsumura et Uchida, 1926 ミナミキナヒメハナバチ																	前田ほか (2010)
<i>Andrena (Chlorandrena) tazacati orientalis</i> Strand, 1915 トグアシヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Chromidandrena) albicaudata</i> Hirashima, 1966 キイロタカネヒメハナバチ																	Matsumura (1970)
<i>Andrena (Chromidandrena) deitricaudata svenorum</i> Hirashima, 1964 ハンゴンシヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Chromidandrena) maetai</i> Hirashima, 1964 マエタヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Chromidandrena) solidago</i> Tadauchi et Xu, 2002 セイタカヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Euanthrena) hebes</i> Pérez, 1905 ヤヨイヒメハナバチ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	宮本 (1960a); Sakagami & Matsumura (1967); 幾留 (1980)
<i>Andrena (Euanthrena) luridiloma</i> Strand, 1915 シロヤヨイヒメハナバチ																	榎方・小林 (1983); 幾留 (1980); 郷石正・前田 (2022)
<i>Andrena (Euanthrena) rufans rubicrus</i> Hirashima, 1967 アカアシヒメハナバチ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	松村・藤井 (1977); 郷石正・前田 (2022)
<i>Andrena (Euanthrena) tateyamae</i> Tanisawa et Hirahima, 1984 タテヤマヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Halomelissa) omogensis</i> Hirashima, 1957 オモギヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Halandrena) shikawai</i> Hirashima, 1958 シカワヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Halandrena) taniguchiae</i> Hirashima, 1958 タニグチヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Halandrena) valeriana</i> Hirashima, 1967 ヒロスキナヒメハナバチ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Sakagami & Matsumura (1967); Usui et al. (1976); Maeta et al. (2005)
<i>Andrena (Hoplandrena) akitsuki</i> Maeta Tadauchi et Hirashima, 1984 アキツキマヒメハナバチ																	Tadauchi & Hirashima (1984); Kato et al. (1990); 多田内・村尾 (編) (2014)
<i>Andrena (Hoplandrena) dentata</i> Smith, 1879 トゲネヒメハナバチ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	宮本 (1960a); Sakagami & Matsumura (1967); Kifune & Maeta (1990)
<i>Andrena (Hoplandrena) macroeps</i> (Matsumura, 1912) エゾトゲネヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Hoplandrena) miyamotoi</i> Hirashima, 1964 ミヤモトヒメハナバチ																	Kifune (1991a)
<i>Andrena (Hoplandrena) nagasatsumi</i> Yasumitsu, 1935 ナガサツミヒメハナバチ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	幾留 (1980); 多田内・村尾 (編) (2014)
<i>Andrena (Hoplandrena) yosae affinis</i> Friese, 1914 エゾハラアケヒメハナバチ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Sakagami & Matsumura (1967)
<i>Andrena (Larandrena) ehizena</i> Hirashima et Haneda, 1973 エチゼンヒメハナバチ																	郷石正・前田 (2022)
<i>Andrena (Larandrena) ventralis</i> Imhoff, 1852 フクイヒメハナバチ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
<i>Andrena (Larandrena) bartholomaei</i> (Kirby, 1802) ダイセイウヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Larandrena) richardsi</i> Hirashima, 1967 クロヒメハナバチ																	郷石正 (1991); Kitamura et al. (2009); Gookom & Maeta (2021a)
<i>Andrena (Melandrena) anze</i> Tadauchi et Hirashima, 1967 アンズヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Melandrena) conita</i> Eversmann, 1852 タイリクヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Melandrena) crassipunctata</i> Cockerell, 1931 シナヒメハナバチ																	
<i>Andrena (Melandrena) edashigei</i> Hirashima, 1960 エダシゲヒメハナバチ																	

分類群	項目																出典	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯		
<i>Lasiglossum (Ctenomoma) hickstoni</i> Sakagami et Minakata, 1990																	前田ほか(2010)	Sakagami <i>et al.</i> (1992); Maeta & Susaki (2005); Maeta <i>et al.</i> (2013)
<i>Lasiglossum (Ctenomoma) kumajimaense</i> (Matsumura et Uchida, 1926)																		宮本(1960); Sakagami & Munakata (1966); Miyama <i>et al.</i> (1999)
<i>Lasiglossum (Ctenomoma) yakushimense</i> Murao, Yamaguchi et Taduchi, 2009																		Cronin & Hirata (2003); Hirata & Higashi (2008); Maeta & Susaki (2014)
<i>Lasiglossum (Epylus) affine</i> (Smith, 1853)																		Svensson <i>et al.</i> (1977)
<i>Lasiglossum (Epylus) albipes</i> (Fabricius, 1781)																		Sakagami & Munakata (1972); Kifune (1991b)
<i>Lasiglossum (Epylus) aptatum</i> (Vachal, 1903)																		Sakagami & Hayashida (1958, 1960a, b, 1968); Sakagami & Fukuda (1973)
<i>Lasiglossum (Epylus) bacicum</i> (Cockerell, 1837)																		宮本(1960)
<i>Lasiglossum (Epylus) boreale</i> Svensson, Ehmer et Sakagami, 1977																		前田ほか(2010)
<i>Lasiglossum (Epylus) valerianum</i> (Scopoli, 1763)																		中村・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) valiginosum</i> Murao, Ehmer et Taduchi, 2006																		Sakagami <i>et al.</i> (1985)
<i>Lasiglossum (Epylus) duplex</i> (Dalla Torre, 1896)																		前田ほか(2010)
<i>Lasiglossum (Epylus) hofmanni</i> (Strand, 1915)																		梶方・菊池(1979); 梶方・小林(1983); Inoue <i>et al.</i> (1990)
<i>Lasiglossum (Epylus) latibitum</i> Murao et Taduchi, 2006																		前田ほか(2010)
<i>Lasiglossum (Epylus) naitoi</i> Ehmer et Maeta, 1994																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) nipponense</i> (Hirashima, 1953)																		中村・松村(1985)
<i>Lasiglossum (Epylus) nupticola</i> Sakagami, 1985																		Sakagami (1988)
<i>Lasiglossum (Epylus) subretatum</i> (Blüthgen, 1923)																		梶方・菊池(1979); 梶方・小林(1983); Inoue <i>et al.</i> (1990)
<i>Lasiglossum (Epylus) salomonis</i> Ehmer et Maeta, 1994																		前田ほか(2010)
<i>Lasiglossum (Epylus) subtriplicatum</i> Sakagami, Miyama et Maeta, 1994																		Sakagami <i>et al.</i> (1994); 前田ほか(2010)
<i>Lasiglossum (Epylus) vulgare</i> (Vachal, 1903)																		Sakagami & Ishida (1973); Maeta (2014b); Miyama <i>et al.</i> (2017)
<i>Lasiglossum (Epylus) alladatum</i> Ehmer et Sakagami, 1985																		Sakagami <i>et al.</i> (1985)
<i>Lasiglossum (Epylus) amamiense</i> Ehmer et Sakagami, 1994																		Murao <i>et al.</i> (2010)
<i>Lasiglossum (Epylus) bicornutum</i> Murao, 2010																		Murao <i>et al.</i> (2010)
<i>Lasiglossum (Epylus) canaliculatum</i> Murao, 2010																		Murao <i>et al.</i> (2010)
<i>Lasiglossum (Epylus) donatense</i> Murao, 2010																		梶方・菊池(1979); 梶方・小林(1983); Inoue <i>et al.</i> (1990)
<i>Lasiglossum (Epylus) frigidum</i> Sakagami et Ehmer, 1996																		前田ほか(2010)
<i>Lasiglossum (Epylus) hirashimae</i> Ehmer et Sakagami, 1985																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) japonicum</i> (Dalla Torre, 1896)																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) kagoshimense</i> (Strand, 1910)																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) kamohio</i> Takahashi et Sakagami, 1993																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) latifacies</i> Murao, 2010																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) metis</i> Ehmer, 2002																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) okai</i> Hirashima et Sakagami, 1996																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) pallidum</i> (Strand, 1913)																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) politum</i> bekunge (Blüthgen, 1925)																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) satoi</i> Takahashi et Sakagami, 1993																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) sexstrigatum</i> (Scheenk, 1869)																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) sibiricola</i> Murao, 2010																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) sibiricola</i> Murao, 2010																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) similidum</i> Ehmer et Sakagami, 1994																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) sphenodictator</i> Sakagami et Taduchi, 1995																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) sicutulum longifacies</i> Sakagami et Taduchi, 1995																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) taduchii</i> Murao, 2012																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) tenoidatum</i> (Vachal, 1903)																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) transpositum</i> (Cockerell, 1925)																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)
<i>Lasiglossum (Epylus) uranense</i> Murao, 2010																		梶方・松村(1985); 郷石近(1993); 前田ほか(2017a)

分類群	項目													出典			
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		⑭	⑮	⑯
<i>Lasiglossum (Erylaxus) villosulum trichopse</i> (Staud, 1913) ケナガチビコハナハチ	○	○	○														棟方・小林(1983); Takahashi & Sakagami (1993); 前田ほか(2010)
<i>Lasiglossum (Erylaxus) yonaginitense</i> Murao, 2010 ヨナグニギビコハナハチ	○																Murao <i>et al.</i> (2010)
<i>Lasiglossum (Erylaxus) zipanga</i> Ebmer et Sakagami, 1994 ジパンタチビコハナハチ	○																Murao <i>et al.</i> (2010)
<i>Lasiglossum (Erylaxus) auzage</i> Sakagami et Taduchi, 1995 アサガチビコハナハチ	○																
<i>Lasiglossum (Erylaxus) mekakenense</i> Murao et Taduchi, 2009 アカンオコハナハチ																	
<i>Lasiglossum (Erylaxus) miyebabi</i> Murao, Ebmer et Taduchi, 2006 ミヤベアコハナハチ																	
<i>Lasiglossum (Erylaxus) negori</i> Murao et Taduchi, 2008 ネゴリアコハナハチ																	
<i>Lasiglossum (Erylaxus) prokamatsumi</i> (Böttgeren, 1923) ヒラシマアコハナハチ	○	○	○														坂上・栗林(1979c); 棟方・小林(1983); Sakagami <i>et al.</i> (1984)
<i>Lasiglossum (Erylaxus) beridammatsumi</i> (Böttgeren, 1925) ケナガアコハナハチ																	
<i>Lasiglossum (Erylaxus) yamanari</i> Murao, Ebmer et Taduchi, 2006 ヤマナリアコハナハチ																	
<i>Lasiglossum (Lasiglossum) ebmerianum</i> Sakagami et Taduchi, 1995 エブメルツヤコハナハチ		○															前田ほか(2017)
<i>Lasiglossum (Lasiglossum) exilispa</i> (Vachal, 1903) ミヤマツヤコハナハチ		○															Inoue <i>et al.</i> (1990); Kikune (1991); 前田ほか(2017)
<i>Lasiglossum (Lasiglossum) harmonii</i> (Vachal, 1903) アルマシカチコハナハチ		○															郷右近(1983); 前田ほか(2017)
<i>Lasiglossum (Lasiglossum) kosanense</i> (Böttgeren, 1931) エゾカチコハナハチ		○															Sakagami <i>et al.</i> (1996)
<i>Lasiglossum (Lasiglossum) levinense</i> (Perez, 1905) ハナチガツヤコハナハチ		○															Kikune (1991b)
<i>Lasiglossum (Lasiglossum) matsumi</i> (Vachal, 1903) サビイロカチコハナハチ		○	○														宮本(1960b); 山内ほか(1974); 畿留(1979a); Miyayama <i>et al.</i> (1998)
<i>Lasiglossum (Lasiglossum) nipponicola</i> Sakagami et Taduchi, 1995 ニッポンカチコハナハチ		○	○														前田ほか(2017)
<i>Lasiglossum (Lasiglossum) oeridense</i> (Smith, 1873) シロスジカチコハナハチ		○	○														宮本(1960f); Sakagami & Fukuda (1973); 松村(2007); 宮永ほか(2012)
<i>Lasiglossum (Lasiglossum) proximatsumi</i> (Smith, 1879) スマカツヤコハナハチ		○															宮本(1960d)
<i>Lasiglossum (Lasiglossum) saishima</i> Ebmer et Maeta, 1999 サキシマカチコハナハチ		○															前田ほか(2010)
<i>Lasiglossum (Lasiglossum) setidulum</i> (Smith, 1873) フタモンカチコハナハチ		○	○														宮本(1960f); Miyayama <i>et al.</i> (2000); 前田ほか(2001); 宮永ほか(2002)
<i>Lasiglossum (Lasiglossum) subopacum okinawa</i> Ebmer et Maeta, 1999 オキナワカチコハナハチ																	
<i>Spheredes amakensis</i> Yasumatsu et Hirashima, 1951 アマカサヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes captis</i> Tsuneki, 1983 オウトルンヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes opacantennis</i> Tsuneki, 1983 ジョウサンヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes hanatai</i> Tsuneki, 1983 ハネガヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes huihomet</i> Mitsu et Taduchi, 2013 イタドメヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes huikensis</i> Tsuneki, 1983 コイケヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes hitatadatus</i> Tsuneki, 1983 シロヒロヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes manyamanus</i> Tsuneki, 1983 マルヤマヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes muratai</i> Tsuneki, 1983 ムロヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes nagasei</i> Mitsu et Taduchi, 2013 ナガセヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes nambur</i> Tsuneki, 1983 ナンブヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes nijpon</i> Meyer, 1922 ニッポンヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes nipponicus</i> Yasumatsu et Hirashima, 1951 ヤマトヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes okidapananus</i> Tsuneki, 1984 オキダヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes okipitsu</i> Tsuneki, 1983 オケツヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes saburivalis</i> Wesmuel, 1855 ミズサヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes sibirica</i> Tsuneki, 1983 モリノヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes similimus</i> Smith, 1873 エキヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes sulcifera</i> Tsuneki, 1983 シンヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes tanae</i> Tsuneki, 1983 タナヤドリコハナハチ																	
<i>Spheredes tanae</i> Tsuneki, 1983 タナヤドリコハナハチ																	
Melittidae ケアンハチ科																	
Dasypodinae フデアシハチ亜科 Dasypodini フデアシハチ族																	
<i>Dasypoda (Dasypoda) japonica</i> Cockerell, 1911 シロスジフデアシハチ																	
Melittinae ケアシハチ亜科																	
<i>Macropis (Macropis) dimidiata dimidiata</i> Yasumatsu et Hirashima, 1956 ヌケウクレタマハチ																	
<i>Macropis (Macropis) fibidus</i> Yasumatsu et Hirashima, 1956 シロウケラタマハチ																	
<i>Melitta (Clissa) zozana</i> Yasumatsu et Hirashima, 1956 エゾケアシハチ																	

日本産野生ハナバチ類の生態知見の総覧とそれらの文献目録

分類群	項目										出典						
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
<i>Melitta (Clissa) japonica</i> Yasumatsu et Hirashima, 1956 ヤマトアカアシハナバチ																	Hammon & Maeta (2007); 前田ほか(2010)
Megachilidae ハキリハチ科																	
Megachilinae ハキリハチ亜科 Lithurgini キネリハチハチ族																	
<i>Lithurgus (Lithurgus) olearis</i> Smith, 1873 シロネキネリハチハチ																	
<i>Lithurgus (Lithurgus) agasacarensis</i> Yasumatsu, 1955 オガサワラキネリハチ																	
<i>Lithurgus (Lithurgus) agasacarensis</i> Yasumatsu, 1955 オガサワラキネリハチ																	
Megachilinae ハキリハチ亜科 Osmiini ツツハチ族																	
<i>Horiades (Micheuerella) hiyamae</i> Yasumatsu et Hirashima, 1952 イズコハキリハチ																	
<i>Horiades (Micheuerella) hiyamae</i> Yasumatsu et Hirashima, 1952 オガサワラコハキリハチ																	
<i>Horiades (Micheuerella) hiyamae</i> Yasumatsu et Hirashima, 1956																	
<i>Horiades (Micheuerella) sakishimansu</i> sakishimansu Yasumatsu et Hirashima, 1956																	
<i>Osmia (Helicosmia) jerofti</i> Cockerell, 1929 イマイツツハチハチ *																	郷石近ほか(1999); 前田ほか(2010)
<i>Osmia (Helicosmia) orientalis</i> Benoit, 1929 マイイツツハチハチ *																	前田(1978a)
<i>Osmia (Helicosmia) orientalis</i> Benoit, 1929 マイイツツハチハチ *																	渡谷(1939); 前田(1978b); 前田(1978a, 1980a); 香取ほか(2010)
<i>Osmia (Metanostia) ishikawae</i> Hirashima, 1973 シシカワツツハチハチ																	
<i>Osmia (Osmia) ornatrix</i> (Radzikowski, 1887) マメコバチ																	
<i>Osmia (Osmia) exarata</i> Allred, 1903 シロオビツツハチハチ																	
<i>Osmia (Osmia) pediformis</i> Cockerell, 1920 オオツツハチハチ																	
<i>Osmia (Osmia) laevis</i> Smith, 1873 ツツハチハチ																	
<i>Osmia (Aysenia) subnitens</i> Morawitz, 1870 ムラカミツツハチハチ *																	
Megachilinae ハキリハチ亜科 Anthidini トモンハチハチ族																	
<i>Anthidium (Anthidium) septempinosum</i> Lepelletier, 1841 トモンハチハチ																	
<i>Euclyptus basalis</i> (Risena, 1874) ハラアガヤドリハキリハチ																	
<i>Euclyptus japonicus</i> Vachal, 1903 コハアガヤドリハキリハチ																	
Megachilinae ハキリハチ亜科 Megachilini ハキリハチ族																	
<i>Coliopsis (Allorhodiopsis) formosicola</i> Strand, 1913 ホシトガリハチハチ																	
<i>Coliopsis (Boreoeddiopsis) alata</i> Friesler, 1853 スエヒロトガリハチハチ																	
<i>Coliopsis (Boreoeddiopsis) hirata</i> Nagase, 2003 ヒロハトガリハチハチ																	
<i>Coliopsis (Boreoeddiopsis) hosota</i> Nagase, 2003 ホソハトガリハチハチ																	
<i>Coliopsis (Boreoeddiopsis) inermis</i> (Kirby, 1802) スジボソトガリハチハチ																	
<i>Coliopsis (Boreoeddiopsis) rufescens</i> Lepelletier et Serville, 1825																	
ミツガドトガリハチハチ																	
<i>Coliopsis (Boreoeddiopsis) sakamotoana</i> Nagase, 2006 ウロコトガリハチハチ																	
<i>Coliopsis (Boreoeddiopsis) yamanai</i> Matsumura, 1912 ヤノトガリハチハチ																	
<i>Coliopsis (Torrildopsis) duralis</i> natanabei Matsumura, 1912 アガサキオトガリハチハチ																	
<i>Coliopsis (Torrildopsis) fenestrata</i> Smith, 1873 オオトガリハチハチ																	
<i>Megachile (Amegachile) okanawana</i> Yasumatsu et Hirashima, 1964 オキナワキハチハチ																	
<i>Megachile (Amegachile) xanthobrytra</i> Yasumatsu et Hirashima, 1964 オキナワキハチハチ																	
<i>Megachile (Amegachile) yamanaiensis</i> Yasumatsu et Hirashima, 1964 キヤマキハチハチ																	
<i>Megachile (Callomegachile) disjunctiformis</i> Cockerell, 1911 ネジロハキリハチ																	
<i>Megachile (Callomegachile) monticola</i> Smith, 1853 ズクロハキリハチ																	
<i>Megachile (Callomegachile) scutellaris</i> Smith, 1853 オオハキリハチ																	
<i>Megachile (Chelostomada) esakii</i> Yasumatsu, 1935 エサキヒメハチハチ																	
<i>Megachile (Chelostomada) spissala</i> Cockerell, 1911 ヒメハチハチ																	
<i>Megachile (Eutricharax) asahinae</i> Yasumatsu, 1955 アサヒナハチハチ																	
<i>Megachile (Eutricharax) kobensis</i> Cockerell, 1918 キヌダハチハチ																	
<i>Megachile (Eutricharax) kyanensis</i> Allred, 1931 キョウトキヌダハチハチ																	
<i>Megachile (Eutricharax) rictator</i> sakishimansu Yasumatsu et Hirashima, 1965																	
オキシマキヌダハチハチ																	
<i>Megachile (Eutricharax) rotundata</i> (Fabricius, 1787) アルファルファハチハチ *																	
<i>Megachile (Eutricharax) concinna</i> Smith, 1879 スダキヌダハチハチ *																	
<i>Megachile (Megalichne) alba</i> Hirashima et Maeta, 1974 アイヌハチハチ																	
<i>Megachile (Megalichne) gonatis</i> Morawitz, 1880 アゼトハチハチ																	

分類群	項目										出典						
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
<i>Megachile (Megachile) lapponica sibirica</i> Hirashima et Maeta, 1974 インカワハキリハチ																	岩田(1941); 前田・佐藤(1971); 郷右近ほか(1996); 片山(2004); 前田(2018)
<i>Megachile (Megachile) ligniseta</i> (Kirby, 1862) タイリクハキリハチ																	岩田(1941); 前田・佐藤(1971); 郷右近ほか(1996); 片山(2004); 前田(2018)
<i>Megachile (Megachile) pseudomonticola</i> Heilcke, 1925 クスハキリハチ																	岩田(1941); 前田(1999a)
<i>Megachile (Paracelia) sabachuta</i> Yasumatsu, 1936 ヒメツツハキリハチ																	岩田(1941, 1974); 宮本(1961e); 前田(1973a)
<i>Megachile (Xanthosyrus) japonica</i> Alfken, 1903 ヤマハキリハチ																	岩田(1941, 1974); 宮本(1961e); 前田(1973a)
<i>Megachile (Xanthosyrus) lapogoda furukawai</i> Yasumatsu, 1938 フルカワフトハキリハチ																	Sakagami & Fukuda(1973); 片山(2001)
<i>Megachile (Xanthosyrus) uulugbhiella minabatai</i> Hirashima et Maeta, 1974 ムナカタハキリハチ																	前田ほか(1996)
<i>Megachile (Xanthosyrus) uulugbhiella samizama</i> Hirashima et Maeta, 1974 スミノツハキリハチ																	宮本(1961d); Maeta <i>et al.</i> (1996, 2015); 片山(1997b); 前田ほか(2017)
<i>Megachile inamitsi</i> Smith, 1879 スミノツハキリハチ																	Maeta <i>et al.</i> (1997); 前田(1999b); Haman <i>et al.</i> (2005); 前田ほか(2010)
<i>Megachile matsunurui</i> Hirashima et Maeta, 1974 マツムラハキリハチ																	岩田(1941); 宮本(1961e, 1965f); 前田(1972); 郷田(1973b)
<i>Megachile nipponica</i> Cockerell, 1914 バラハキリハチ																	郷田(1979b)
<i>Megachile okita</i> Nagase, 2011 オジロハキリハチ																	宮本(1961e, 1964); 前田(1979b, 1980b); 片山(1970); 松村(2007)
<i>Megachile remota sakagami</i> Hirashima et Maeta, 1974 サカガミハキリハチ																	
<i>Megachile tsurugensis</i> Cockerell, 1824 ツルガハキリハチ																	
<i>Megachile yamanisai</i> Hirashima, 1974 ヤスマツハキリハチ																	
Apoidea ミツハチ科																	
Xylocopinae クマバチ亜科																	
<i>Xylocopa (Alloxylopa) albidulum</i> Matsumura, 1926 アカアシセジロクマバチ																	Yasumatsu & Hirashima (1964); 前田・日茂(1994); 前田ほか(2010)
<i>Xylocopa (Alloxylopa) amomensis</i> Snon, 1984 アマミクマバチ																	飯田(1934); 生島(1934); 宮本(1961a); Kojima (1979); 柴崎(1984)
<i>Xylocopa (Alloxylopa) appendicalata circumvolans</i> Smith, 1873 キムネクマバチ																	
<i>Xylocopa (Alloxylopa) fascifrons</i> Matsumura, 1912 オキナワクマバチ																	
<i>Xylocopa (Kopilotosoma) agisawaensis</i> Matsumura, 1912 ネガワクラクマバチ																	
<i>Xylocopa (Neoxylopa) sonaruta</i> Smith, 1874 ハワイクマバチ																	
<i>Xylocopa (Biluna) managobororum managobororum</i> (Swederus, 1787) * タイワンクマバチ																	岩田(1938b); Iwata (1964); Maeta <i>et al.</i> (1985, 1996); Kawazoe <i>et al.</i> (2010)
Xylocopinae クマバチ亜科 Ceratrinae ツツハチハチ亜族																	
<i>Ceratrina (Ceratrina) esaki</i> Yasumatsu et Hirashima, 1969 エサキツツハチハチ																	根来(1983b); Inoue <i>et al.</i> (1990)
<i>Ceratrina (Ceratrina) iwatai</i> Yasumatsu, 1936 イワタツツハチハチ																	根来(1980a,b, 2004a); 前田(1993b); Maeta & Hyodo (2021)
<i>Ceratrina (Ceratrina) megastigmata</i> Yasumatsu et Hirashima, 1969 クロツツハチハチ																	Maeta & Katsuyama (1978); Katsuyama & Maeta (1979); Maeta & Yoshida (2013)
<i>Ceratrina (Ceratrina) saito</i> Yasumatsu, 1936 サイトツツハチハチ																	根来(1981, 2004b); Maeta & Hyodo (2021)
<i>Ceratrina (Ceratrina) yangagaransis</i> Shiohawa, 2011 ヨナガニヒツツハチハチ																	
<i>Ceratrina (Ceratridia) fascipes</i> Smith, 1879 キオビツツハチハチ																	Shiohawa (1966); Sakagami & Maeta (1987a); 前田 (2002, 2012a,b)
<i>Ceratrina (Ceratridia) japonica</i> Cockerell, 1911 ヤマトツツハチハチ																	Shiohawa (1966); Sakagami & Maeta (1985); 前田 (2002, 2012a,b)
<i>Ceratrina (Ceratridia) okizawaana</i> Matsumura et Uchida, 1926 オキナワツツハチハチ																	Sakagami & Maeta (1989, 1995); Maeta <i>et al.</i> (2009); 前田ほか(2010)
<i>Ceratrina (Ceratridia) silvicola</i> Shiohawa, 2008 イリキモツツハチハチ																	
<i>Ceratrina (Neoceratina) bomiensis</i> Yasumatsu, 1955 ナガワクラツツハチハチ																	Maeta <i>et al.</i> (2012)
<i>Ceratrina (Neoceratina) shibipis</i> Shiohawa, 2008 トゲツツハチハチ																	Maeta (2014a)
<i>Ceratrina (Pheilia) anagadala</i> Fabricius, 1787 ミドリシツツハチハチ																	堀川(1981c); Maeta <i>et al.</i> (2010)
Nomadinae キマダラハチ亜科 Nomadini キマダラハチハチ族																	
<i>Nomada albana</i> Tsuneki, 1973 アフタキマダラハチハチ																	須田(1980); Maeta <i>et al.</i> (1996, 2015)
<i>Nomada alboguttata etizansis</i> Tsuneki, 1975 エチゼンキマダラハチハチ																	須田(1980); Maeta <i>et al.</i> (1996, 2015)
<i>Nomada amurensis</i> Radoszkowsky, 1876 エサキキマダラハチハチ																	Maeta <i>et al.</i> (2015)
<i>Nomada ansiana</i> Tsuneki, 1973 アラシキマダラハチハチ																	
<i>Nomada asuzana</i> Tsuneki, 1976 アラシキマダラハチハチ																	
<i>Nomada asvensis</i> Tsuneki, 1973 アシキマダラハチハチ																	Maeta <i>et al.</i> (1996, 2015)
<i>Nomada callipera</i> Cockerell, 1918 ヤマトキマダラハチハチ																	前田ほか(2004); Maeta <i>et al.</i> (1996, 2015); 堀川・黒川(2002)
<i>Nomada campanata</i> Cockerell, 1911 ウヅノキマダラハチハチ																	Hirashima (1962); 須田(1980); Maeta <i>et al.</i> (1996, 2004)
<i>Nomada erythra</i> Morawitz, 1888 ムナカタキマダラハチハチ																	
<i>Nomada erythra</i> Mitsu, Hirashima et Taduchi, 2007 アラシキマダラハチハチ																	
<i>Nomada esana</i> Tsuneki, 1973 エサキキマダラハチハチ																	
<i>Nomada foveus</i> Smith, 1873 ケーベルキマダラハチハチ																	Matsumura (1970); Maeta <i>et al.</i> (1996, 2004)

分類群	項目													出典				
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		⑭	⑮	⑯	
<i>Nomada flavoguttata</i> (Kirby, 1802) ヒメキマダラハナバチ																		Maeta <i>et al.</i> (1996, 2015); 郷石近・前田 (2022)
<i>Nomada fulvicornis</i> Tsunekii, 1973 フクイキマダラハナバチ																		宮本 (1960c); Maeta <i>et al.</i> (1996, 2015)
<i>Nomada fulvicornis japonensis</i> Matsumura, 1912 エゾキマダラハナバチ																		
<i>Nomada fusca</i> Schwarz, 1986 フクキマダラハナバチ																		
<i>Nomada galliata</i> Yasumatsu et Hirashima, 1953 甲田キマダラハナバチ																		
<i>Nomada girana</i> Tsunekii, 1973 ゴンランキマダラハナバチ																		
<i>Nomada guttulata</i> Schenck, 1861 セトヨウキマダラハナバチ																		
<i>Nomada hachida</i> Tsunekii, 1973 ハッコウキマダラハナバチ																		
<i>Nomada habuensis</i> Cockerell, 1911 ヒゲナキマダラハナバチ																		
<i>Nomada habuensis</i> Tsunekii, 1973 モモクロキマダラハナバチ																		
<i>Nomada herimensis</i> Cockerell, 1914 ハリハリキマダラハナバチ																		
<i>Nomada iazati</i> Tsunekii, 1974 イカヅチキマダラハナバチ																		
<i>Nomada isikii</i> Yasumatsu, 1957 イッジキマダラハナバチ																		
<i>Nomada japonica</i> Smith, 1873 タイミヨウキマダラハナバチ																		
<i>Nomada kagawa</i> Hirashima, 1953 カガキマダラハナバチ																		
<i>Nomada kinosaki</i> Tsunekii, 1973 キノスケキマダラハナバチ																		
<i>Nomada kokensis</i> Tsunekii, 1973 コイケキマダラハナバチ																		
<i>Nomada leucophthalma</i> (Kirby, 1802) クロキマダラハナバチ																		
<i>Nomada maculifrons</i> Smith, 1869 カサモクキマダラハナバチ																		
<i>Nomada monstera</i> Tsunekii, 1973 ミヤキマダラハナバチ																		
<i>Nomada nipponica</i> Yasumatsu et Hirashima, 1951 ニッポンキマダラハナバチ																		
<i>Nomada obabira</i> Tsunekii, 1973 オキマダラハナバチ																		
<i>Nomada pacifica</i> Tsunekii, 1973 ヒロハキマダラハナバチ																		
<i>Nomada pauciflora</i> Tsunekii, 1973 ミズヒキマダラハナバチ																		
<i>Nomada pulchra</i> Tsunekii, 1973 ヲキマダラハナバチ																		
<i>Nomada pygmaea</i> Cockerell, 1918 ナシモンキマダラハナバチ																		
<i>Nomada roborator</i> aino Tsunekii, 1973 アイヌキマダラハナバチ																		
<i>Nomada sibirica</i> Tsunekii, 1973 サハエキマダラハナバチ																		
<i>Nomada shiraki</i> Yasumatsu et Hirashima, 1951 シラキキマダラハナバチ																		
<i>Nomada siticola</i> Tsunekii, 1973 セリノキマダラハナバチ																		
<i>Nomada taicho</i> Tsunekii, 1973 タイチヨウキマダラハナバチ																		
<i>Nomada temniscata akishimae</i> Miata, Hirashima et Tadauchi, 2003 ヒメカモトキマダラハナバチ																		
<i>Nomada tonada</i> Tsunekii, 1973 トワダキマダラハナバチ																		
<i>Nomada tsushimae</i> Miata et Tadauchi, 2008 ツシマキマダラハナバチ																		
<i>Nomada xantha</i> Miata, Hirashima et Tadauchi, 2007 トウナギキマダラハナバチ																		
<i>Nomada yakushimensis</i> Miata, Kadome et Tadauchi, 2007 ヤクシマキマダラハナバチ																		
<i>Nomada yamai</i> Tsunekii, 1973 ヤノキマダラハナバチ																		
Nomidae キマダラハナバチ亜科 Epoilini ヤドリハナバチ族																		
<i>Epoilas coranus</i> (Yasumatsu, 1933) キスジムカシハナバチヤドリ																		
<i>Epoilas sibirica</i> Tadauchi et Schwarz, 1999 イシカラムカシハナバチヤドリ																		
<i>Epoilas nipponica</i> Bischoff, 1930 ヤマトムカシハナバチヤドリ																		宮本 (1960c)
<i>Epoilas meliciformis</i> Yasumatsu, 1938 シロモンカシハナバチヤドリ																		船本 (1990); Maeta <i>et al.</i> (1996, 2015); Oohata <i>et al.</i> (2010)
<i>Epoilas tarsalis himokanus</i> Hirashima, 1955 シイハムカシハナバチヤドリ																		
<i>Triphobus ventralis</i> (Meade-Waldo, 1913) シロズギヤドリハナバチ																		郷石近・前田 (2008)
Nomadiinae キマダラハナバチ亜科 Ammodini ハラアキヤドリハナバチ族																		
<i>Posite esakii</i> Popov et Yasumatsu, 1935 ナガセハラアキヤドリハナバチ																		Hirashima & Nugesue (1981)
Apinae ミツバチ科 Eucerini ヒゲナガハナバチ族																		
<i>Eucera (Eucera) sociabilis</i> Smith, 1873 ハイイロヒゲナガハナバチ																		宮本 (1960c); 榎田 (1940); Usui <i>et al.</i> (1976); Sukegami & Usui (1976)
<i>Eucera (Eucera) spurcillipes</i> Pérez, 1905 シロズギヒゲナガハナバチ																		榎田 (1959); 宮本 (1961d); 榎本 (2001a); 郷原・前田 (2001)

分類群	項目															出典	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮		⑯
<i>Encera (Synhalonia) chinensis nigricaudata</i> (Yasumatsu et Hirashima, 1965) シナヒゲナガハナバチ	○	○															前田ほか(2010)
<i>Encera (Synhalonia) nipponensis</i> (Perez, 1905) ニッポンヒゲナガハナバチ	○	○															宮本(1961d); 幾留(1978, 1979a, 1992); 根来(1980a); Kokutani <i>et al.</i> (1990)
<i>Encera (Synhalonia) okinaeae</i> (Pritsch, 1910) オキナワヒゲナガハナバチ	○	○															前田ほか(2010)
<i>Tetralonia (Tetralonia) mitsurari</i> (Cockerell, 1911) ミツクリヒゲナガハナバチ	○	○															宮本(1961d); 平嶋(1972); Matsuura <i>et al.</i> (1974); 郷右近・前田(2008)
Apinae ミツバチ亜科 Anthophorini コシノトハナバチ族																	
<i>Amegilla (Amegilla) quadrifasciata</i> (Villers, 1789) シロシジソトハナバチ	○	○															幾留(2005)
<i>Amegilla (Glossamegilla) florea</i> (Smith, 1879) スジボソフトハナバチ	○	○															前田ほか(2010); Miyayama <i>et al.</i> (2011)
<i>Amegilla (Glossamegilla) uraris</i> (Cockerell, 1911) ナミミスズボソフトハナバチ	○	○															前田ほか(2010); Miyayama <i>et al.</i> (2011)
<i>Anthophora (Zonamegilla) dufrenoyi</i> (Cockerell, 1926) アオスズボソフトハナバチ	○	○															前田ほか(2010); Miyayama <i>et al.</i> (2011)
<i>Anthophora (Anthophora) plumipes</i> (Pallas, 1772) ケアガコシボソフトハナバチ	○	○															鳥居(1931); 宮本(1968, 1960d); Adhikari <i>et al.</i> (2016); 前田・宮永(2018)
Apinae ミツバチ亜科 Melicini ルリモンハナバチ族																	
<i>Thyrus centruaeta</i> (Perez, 1905) ウスルリモンハナバチ	-	-															Maeta <i>et al.</i> (1996, 2015)
<i>Thyrus decorus</i> (Smith, 1852) ナミルリモンハナバチ	-	-															Maeta <i>et al.</i> (1996, 2015)
<i>Thyrus himalayensis</i> (Radoszkowski, 1893) ヒマラヤルリモンハナバチ	-	-															
<i>Thyrus takensis</i> (Cockerell, 1911) タカオドルリモンハナバチ	○	○															Maeta <i>et al.</i> (1996, 2015); 前田ほか(2010); Miyayama <i>et al.</i> (2011)
Apinae ミツバチ亜科 Bombini マルハナバチ族																	
<i>Bombus (Bombus) floridus</i> Panfilov, 1956 ノソップマルハナバチ	○	○															
<i>Bombus (Bombus) hypocrita hypocrita</i> Perez, 1905 オオマルハナバチ	○	○															Katayama (1974, 1975, 1989); 片山(2007); 片山・高見沢(2004)
<i>Bombus (Bombus) hypocrita sibiricus</i> Perez, 1905 オオマルハナバチ	○	○															Sakagami & Fukuda (1973); Sakagami & Katayama (1977); 榎方・工藤(1981); 宮本(1961c, 1963a, b); Katayama (1971, 1973, 1989); 片山(2007)
<i>Bombus (Bombus) ignitus</i> Smith, 1869 タロマルハナバチ	○	○															小野・利田(1996); 五箇ほか(2000); Kambe <i>et al.</i> (2008)
<i>Bombus (Bombus) terrestris</i> (Linnaeus, 1758) セイヨウオオマルハナバチ*	○	○															Katayama (1989); Kato <i>et al.</i> (1998); 片山(2007); 片山ほか(2008b)
<i>Bombus (Megabombus) consobrinus</i> Dalibon, 1832 ナガマルハナバチ	○	○															宮本(1969d); Katayama (1985, 1986, 1989); 片山(2007, 2011)
<i>Bombus (Megabombus) diversus diversus</i> Smith, 1869 トラマルハナバチ	○	○															Sakagami & Fukuda (1973); Usui <i>et al.</i> (1976); 榎方ほか(1987)
<i>Bombus (Megabombus) diversus versatus</i> Smith, 1869 エイトラマルハナバチ	○	○															Katayama (1989); 片山(2007); Katayama <i>et al.</i> (1990); 高見沢・片山(2005)
<i>Bombus (Megabombus) ussarensis</i> Radoszkowski, 1877 ウスリーマルハナバチ	○	○															Maeta <i>et al.</i> (1996, 2015)
<i>Bombus (Psithyrus) norvegicus japonicus</i> (Yasumatsu, 1937) ニッポンヤドリマルハナバチ	○	○															Taniguchi (1955); 宮本(1961c); Katayama (1989, 1997); 片山(2007, 2010)
<i>Bombus (Pyrobombus) ardens</i> Smith, 1879 コマルハナバチ	○	○															
<i>Bombus (Pyrobombus) ardens subagami</i> Takai & Yonemaru, 1969 ヨソマルハナバチ	○	○															
<i>Bombus (Pyrobombus) ardens tsushimansu</i> , Sakagami et Ishikawa, 1969 ツシマコマルハナバチ	○	○															
<i>Bombus (Pyrobombus) beaticola</i> (Takai, 1968) ヒメマルハナバチ	○	○															Katayama (1988); Kato <i>et al.</i> (1998); 片山(2007); 片山ほか(2008)
<i>Bombus (Pyrobombus) beaticola moskaranophus</i> Sakagami et Ishikawa, 1969 エノヒメマルハナバチ	○	○															
<i>Bombus (Pyrobombus) hypocritum koropokitus</i> Sakagami et Ishikawa, 1972 アカマルハナバチ	○	○															榎方・工藤(1981)
<i>Bombus (Thracobombus) deuteronymus</i> Schulz, 1879 ハイイロマルハナバチ	○	○															Usui <i>et al.</i> (1976); 榎方・菊池(1979)
<i>Bombus (Thracobombus) deuteronymus marukatahachi</i> Sakagami et Ishikawa, 1969 ホンシウハイイロマルハナバチ	○	○															
<i>Bombus (Thracobombus) hoshuensis</i> (Takai, 1968) ミヤママルハナバチ	○	○															Katayama <i>et al.</i> (1998); 片山(2007)
<i>Bombus (Thracobombus) pseudohaitanensis</i> Vogt, 1911 セーハイイロマルハナバチ	○	○															Katayama (1988); 郷右近(1993); Kato <i>et al.</i> (1998); 片山(2007)
<i>Bombus (Thracobombus) schrencki</i> Moravitz, 1881 シュレクマルハナバチ	○	○															Usui <i>et al.</i> (1976); 榎方・菊池(1979); 榎方・小林(1983); 榎方ほか(1987)
Apinae ミツバチ亜科 Apini ミツバチ族																	
<i>Apis (Apis) cerana japonica</i> Radoszkowski, 1887 ニッポンミツバチ	○	○															Usui <i>et al.</i> (1976); Sakagami & Katayama (1977)
<i>Apis (Apis) mellifera</i> Linnaeus, 1758 セイヨウミツバチ*																	

学名と和名は、日本産ハナバチ図鑑(多田内・村尾(編), 2014) によった。キタアトジマコマルハナバチの学名は、*Halicinus rubicaudus* (Christ, 1971) が充てられていたが最近 *H. heitmani* Blüthgen に変更された (Murai and Gibbs, 2019)。労働寄生蜂において、寄主が状況観から特定された種には**を付した。